様式第２号（第８条関係）

審議会等会議録

会議の名称	令和２年度第２回第２０採択地区教科用図書採択協議会
開催日時	令和２年７月２日（木） 午前９時　から　午後３時まで
開催場所	羽生市役所　４階　第２委員会室
議長氏名	秋本　文子
出席委員	渡邉　義昭　・　福田　孝夫　・　小林　義之 柿沼　拓弥　・　髙瀬　賢一
欠席委員	なし
会議次第	１　開　　会 ２　あいさつ　　北埼玉地区教育委員会連合会長　秋本　文子 ３　議　　事　　調査員の教科用図書調査研究報告について (1)国語　(2)書写　(3)社会（地理・歴史・公民・地図） (4)数学　(5)理科　(6)音楽（一般・器楽）　(7)美術 (8)保健体育(9)技術　(10)家庭　(11)英語　(12)道徳 ４　閉　　会
会議資料の名称	①本日の「次第」 ②教科用図書調査研究報告書　【資料１】 ③埼玉県教育委員会調査資料（令和３年度使用）　【資料２】 ④各中学校、保護者研究調査結果報告書　【資料３】 ⑤令和３年度使用教科書の採択に係る留意事項について【資料４】 ⑥デジタル教科書についての説明資料　【資料５】
会議の公開又は非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	９人
説明者の職・氏名	羽生市教育委員会学校教育課長　大久保　芳泰 加須市教育委員会学校教育課長　刑部　香織
事務局職員職・氏名	羽生市教育委員会学校教育課指導主事　柿沼　宏充 加須市教育委員会学校教育課指導主事　野本　大輔
会議録の作成方法	■　要点記録 □　全文記録
その他必要な事項	

様式第３号（第８条関係）

発　言　者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
大久保学校教育課長	【開会】
第２０採択地区教科用図書採択地区協議会 秋本文子会長	【あいさつ】 あいさつ　　第２０採択地区教科用図書採択地区協議会長
大久保学校教育課長	【議事】 本日の資料確認 ①　　次第 ②　【資料１】第１９・２０採択地区教科用図書研究調査報告書 ③　【資料２】埼玉県教育委員会作成　調査資料　（中学校） ④　【資料３】第２０採択地区各中学校、保護者調査研究結果報告書 ⑤　【資料４】令和３年度使用教科書の採択に係る留意事項について ⑥　【資料５】デジタル教科書についての説明資料 の６点の確認をお願いする。 協議に入らせていただく。協議の進行については、本日も第２０採択地区教科用図書採択地区協議会長の　秋本文子　様　にお願いする。
秋本会長	前回に引き続き、委員のみなさんにおかれましては、熱心な協議をお願いする。 はじめに、前回の時に御質問をいただいておりました点につきまして事務局から報告をお願いする。
柿沼指導主事	前回御質問いただいていた、デジタル教科書についてですが、資料にあるようにGIGAスクールのロードマップにも明記されている。令和元年度の制度化の根拠法令が次のページにまとめられている。１学校教育法等の一部を改正する法律では「児童生徒の教育の充実を図るために必要があると認められる教育課程の一部において、紙の教科書に代えて学習者用デジタル教科書を使用できる」と変更された。しかし、一部という表記がある。３学校教育法第３４条第２項に規定する教材に使用について定める件には「紙の教科書に代えて学習者用デジタル教科書を使用する授業は各教科等の授業時数の２分の１に満たないこと」（紙の教科書を主として用いる）と記されている。 また、参考資料として配付した資料には値段の一例が掲載されている。このライセンスは個人で１年間となっている。全教科購入すると相当な額がかかることが予想される。 これらのことから、現時点ではデジタル教科書には多くの制限がかかっていることがはっきりした。しかし今後、GIGAスクールの推進とともに制度が変わることも考えられるので今後も注視していく必要がある。

秋本会長	質問はあるか。 導入する場合、これを全児童・生徒分、毎年かかることになる。これは市が単独で補填したりする状況か。
柿沼指導主事	はい。今のところ、教科書無料の教科書については、紙媒体のものということで、文部科学省から支給されることになっている。ただ、このデジタル教科書についても今後は、無償配布に置き換わる可能性もゼロではないが、なかなか紙媒体からの切り替わりは厳しい状況なのではないかと推測している。
渡邉委員	指導者用のものは準備しないとだめではないか。
柿沼指導主事	GIGAスクール事業を展開する中で、指導者が前で教科書等を提示しながら授業を行うというのは、必要になると思う。
秋本会長	これについては、まだ課題が山積している。新たな課題も中学校から出てくる可能性もある。また、最新情報が出た際に、情報提供をお願いする。 それでは協議に入りたい。 はじめに、第２０採択地区教科用図書採択地区協議会規約第１０条により、この会は公開とするが、よろしいか。
各委員	（賛成の声）
秋本会長	この会議を公開とする。 傍聴される方がいたら傍聴について説明し、案内するよう願う。
	（傍聴人　９人　着席）
秋本会長	事務局より研究調査報告について説明を願う。
柿沼指導主事	本日の研究調査報告ですが、担当指導主事が、教科ごとに全部の教科書について、調査研究員が作成した資料「第１９・２０採択地区教科用図書研究調査報告書」に基づいて報告する。 報告後、質疑を行う。報告は、中学校教科書は「令和３年度使用中学校教科書目録」の順で行う。また、埼玉県教育委員会の調査資料を参照願う。
秋本会長	それでは協議を進めるが、質問はあるか。
各委員	（特になし）
秋本会長	それでは国語からお願いする。
【国語】 大澤指導主事 （加須市教委）	小学校　国語について報告する。 **東京書籍　新しい国語** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○「学びを支える言葉の力」で「論理的な言葉」「文学的な言葉」「対話的な言葉」の基礎的内容を取り立てて学習する教材が設けられている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○ＳＤＧｓを根底においた題材を多く取り上げたり、現代社会ならではの課題に着目したりして、社会生活や個人と社会についての関わり等について考えることができるよう工夫されている。

	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○巻頭に既習事項と一年間で学ぶことが整理されたり、巻末に３年間の学びが「言葉の力」として一覧になっていたりするので、学習の見通しと振り返りができる工夫がされている。 〈読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫〉 ○「読むこと」の教材に関連する本を１冊紹介している。学年で３つ現代的な問題を扱った文章や日本文学作品などを紹介し、併せて、関連する読書教材を提示している。資料編でもテーマごとに読書教材を紹介している。本のポップ作りやビブリオバトルなどの読書活動が学年ごとに複数示されている。 【資料】 ○「てびき」や「学びの扉」等、各単元内やその前後に生徒の理解を深める資料があり、巻末にも付録として作品や資料を掲載してある。日常の国語学習や他教科の学習、予習・復習などにも活用できるようになっている。 【表記・表現】 ○教材では新出漢字が文脈の中で学べるようになっている。「漢字道場」では、新出漢字を体系的に効率よく学ぶことができる。巻末の「学習用語一覧」によって、用語が体系的にまとめられており、参照可能になっている。 【総括】 本編（７単元）と基礎編及び資料編の構成である。本編では、知識・技能について学び、基礎編では、本編で学んだことが深められるようになっている。単元ごとに「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」が連動して、思考力・判断力・表現力を育成するための工夫がされている。学習に関連する音声や映像などの資料がインターネットで活用できるようになっている。 **三省堂　現代の国語** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○「読むこと」の教材に「読み方を学ぼう」を特設している。教材に関連した読みの方略を図解で示し、知識・技能を可視化することによって学習のポイントを具体化している。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○各学年の「読み方を学ぼう」で「読み方」の基礎・基本と９つの「思考の方法」を挙げ、現代社会に必須とされる「批判的な読み」を位置づけるなど、社会生活でも活用できる「読み方」が示している。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○巻頭の「領域別教材一覧」に各教材の「つけたい力」が整理され、学習の見通しが持てるようになっている。教材ごとに「学びの道しるべ」で学習過程が示され、何を学んだのか振り返りができるようにしている。

〈読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫〉
○「読むこと」の教材ごとに３つの読書教材を紹介している。読書単元「読書の広場」では、テーマごとに読書教材が紹介され、日本文学作品や古典、現代作家の作品を掲載し、学んだことが活用できるようになっている。ビブリオバトルやブックトークといった読書活動が各学年で一つ提示されている。
【資料】
○適宜挿入された資料「読み方を学ぼう」によって、「人物相関図」「三角ロジック」「要約」「人物設定」「図表と文章」「例示」「回想」「批判的な読み」「具体と抽象」など、読みの方略を幅広く取り上げている。
【表記・表現】
○漢字の学習や韻文・古典教材の本文では、手書き文字に近い書体である教科書体としており、文字の大きさや書体を適宜使い分けている。巻末「学習用語辞典」に用語が体系的にまとまっており、参照可能となっている。
【総括】
本編（8~9単元）と「読書の広場」及び資料編で構成されている。巻頭に領域別教材一覧とともに各教材で付けたい力や言語活動が一覧となって整理されている。「読み方を学ぼう」では、「読み方」の基礎・基本が図式化され、日常生活で活用できる読み方が示されている。資料編では、情報の扱い方や話し合いの仕方など実践的な方法や社会生活に役立つ知識がまとめられている。

教育出版　伝え合う言葉　中学国語
【内容】
〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉
○「読むこと」の教材では、重要な語句や表現を「この教材で学ぶ言葉」としてまとめ、巻末では「理解に役立つ言葉」を設け、語彙の拡充を図る工夫がされている。
〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉
○ＳＤＧｓなど現代における多種多様な社会の課題を題材に、教材の始めの「学びナビ」で、文章の読み方を示したり、効果的な思考力のはたらかせ方を解説と図解で示したりして、活動内容を視覚化・明確化している。
〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉
○巻頭の「言葉の地図」と教材冒頭の「学びナビ」で身につけたい力を提示し、見通しをもって学習が進められる構成となっている。「みちしるべ」では、学習課題と振り返りを通して自分の学びを確認できる工夫がある。
〈読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫〉
○各単元でテーマごとに関連する読書教材が紹介されている。各学年で２つ読書教材として現代的な話題を扱った作品や日本文学作品が掲載されている。併せて、学年ごとに本のポップを作るなど読書活動が１つ示されている。巻末の「言葉の自習室」で、現代作家の作品や古典が紹介されている。

【資料】
○資料は、生徒の学習意欲を高めるもの、文章の理解を助ける資料性の高いものや、生徒の想像を膨らませるイメージ豊かなもの、活動の手順や留意点をわかりやすく示すものなど、学習上必要なものを取り上げている。
【表記・表現】
○各教材で、中学校で学ぶ1110字全てが配当され、文や語彙、漢字の知識とともに学習し、漢字の活用を視野に入れた教材化で定着が図られている。また、巻末に「学習に必要な用語」があり、用語を参照可能となっている。
【総括】
本編（8～9単元）と「言葉と文法 解説編」で構成されている。各教材の学習前に、「学びナビ」で学習の進め方が示され、学習後に「みちしるべ」で振り返りができるようになっている。巻頭に「言葉の地図」が示されSDGｓの視点とともに学習の流れや身に付けたい言葉の力が一覧となっている。「学びのチャレンジ」で資料を使い思考力・判断力・表現力を高める教材が扱われている。

光村図書　国語
【内容】
〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉
○各学年に「言葉を集めよう」（１年）「言葉を比べよう」（２年）「言葉を選ぼう」（３年）という教材を系統的に位置づけ、巻末の「語彙を豊かに」とともに語彙の拡充を図る構成となっている。
〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉
○テーマを現代社会のさまざまな事象に求め、読みのポイントを「学習の窓」で図解しながら解説している。「インタビューのしかた」や「話し合いの方法」などの社会生活に生かせる事項も多く取り入れられている。
〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉
○巻頭に一年間の学習の学びが一覧で示され、見通しをもつことができる。巻末の「学習を振り返ろう」で領域ごとの問題に取り組み、１年間で身につけた力を確認することができるように工夫がされている。
〈読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫〉
○「読むこと」の教材ごとに関連する読書教材が２冊紹介されている。学年で２つ、現代作家の作品や社会の課題を取り上げた作品が取り上げられている。併せて、ブックトークや読書会など読書活動の紹介とテーマにそって本が複数紹介されている。巻末の「学習を広げる」で名作や古典が紹介されている。
【資料】
○「思考の地図」や「情報整理のレッスン」のように、多様な表、グラフ、マップなどの資料を活用できるようになっており、学習内容の理解を促し、イメージを広げる挿絵や写真が適宜掲載されている。

	【表記・表現】 ○各教材で、中学校で学ぶ1110字全てが配当され、文や語彙、漢字の知識とともに学習し、漢字の活用を視野に入れた教材化で定着が図られている。また、巻末に「学習に必要な用語」があり、用語を参照可能となっている。 【総括】 漢字の教材や新出漢字欄など、漢字の読み書きを学習する場では、点画の書き方や筆使いの見本となるよう、手書き文字に近い書体が使用されている。巻末に「学習のための用語一覧」があり、参照可能となっている。 以上で国語の報告を終わる。
秋本会長	質問、その他意見はないか。
渡邉委員	東書の総括の部分で、最後の行、資料がインターネットで活用できるようになっているというのを具体的に教えてもらいたい。
大澤指導主事	インターネットの中の、「東書イーネット」というものがある。この東書イーネットの中に、こちらのＱＲコードを参照してもらい、そちらから教材を取り込むことができるということになっている。教科書の内容を詳しく説明しているものが紹介されている。
渡邉委員	東書イーネットで、ＱＲコードということでよいか。これは無償か。
大澤指導主事	無償である。
秋本会長	よろしいか。他に質問、その他意見はないか。
小林委員	東書イーネットについてですが、敢えて載せているということは、他のところはインターネットを活用できるようになっていないということか。
大澤指導主事	そういうことではないが、この会議の中で東書イーネットは便利だねということで、他の会社も同じようにインターネットで詳しい内容が説明されているということである。４社すべてそのようになっている。
秋本会長	よろしいか。他に質問、その他意見はないか。
渡邉委員	教育出版の「表記・表現」のところで１行目に「中学校で学ぶ１１１０字全てが配当され」とあるが、これは全ての教科書できちんと配当されていると思うが、他の教科書は配当されていないのか。
大澤指導主事	配当されているはずである。いろいろな資料も見て、教科書会社の説明でも前面に出していたので、資料にしたというところだ。当然、各会社とも１１１０字は載っているかと思う。そこまで数えておらず申し訳ない。正確な数字ではなく申し訳ない。
秋本会長	よろしいか。他に質問、その他意見はないか。
福田委員	細かいところだが、光村の下の方の「表記・表現」のところが、後半の部分で、手書き文字に近い書体が使用されている。巻末に【学習可能用語一覧】と対照可能とありますが、どのくらいの内容なのか。
大澤指導主事	まず書体の特徴から説明があり、語彙を豊かに心情・様子・行為を表す言葉ということで、日常生活等で使えるような言葉、具体的に類義語等も踏まえて説明がある。

	子どもたちが使える活用できる言葉、それぞれの学年の教科書に載っている漢字といっしょに書き順、使われている読み方、言葉等が工夫されて載せられているので、短文づくり等でも役に立つ、活用できる・しやすい言葉の情報が後半に載せられている。
福田委員	それは他の教科書会社でも様式は違うにしろ同じようなかたちか
大澤指導主事	同じようなかたちであるが、他の教科書に関しては、手紙の書き方であるとか、様々な情報が入っているものが多く、光村に関しては、言葉の方が非常に多かったということと、それと昨今、国語部会でも話が出たのが、パソコン文字というものが、主流文字になっていて、筆文字のとめ、はね、はらいというものがおろそかになりがちであるというところを意識して、ここを言葉の部分で出されている文字もきちんととめ、はね、はらいを意識している書体で書かれていると話題に出た。
秋本会長	よろしいか。他に質問、その他意見はないか。
小林委員	各社がそれぞれに工夫されている。話し合いの様子を教えてほしい。
大澤指導主事	調べていく間に、否定的な言葉は全く出てこなかった。この会社使いたいね。ここも使いたいね。と毎回出てくるので、私自身はどの会社を使っても、子どもたちは主体的に学べるのではないかと思っていて、言葉が膨らむような会議だった。
秋本会長	よろしいか。他に質問、その他意見はないか。
柿沼委員	今の言葉の使い方の件ですが、SNS におけるコミュニケーション、言葉の使い方など、そういうことについて、先生方から話があったか。ＳＮＳに対してやメールの書き方など。
大澤指導主事	ＳＮＳに対しては、話題にはのぼらなかった。メールもなかった。
秋本会長	よろしいか。他に質問、その他意見はないか。
渡邉委員	GIGA スクール構想が進み､漢字も大枠だけ知っていればよいという風潮になってきている感じがする。その中で、教科書のあるべき姿やポイントなど雑談的なものは、調査研究部会であったか。
大澤指導主事	会議の中で特に取り上げていたものは、持続可能な目標ということで、新しいものも出てきた。ただ伝統文化、伝統の言葉を大事にしている作品が、また戻ってきたということ。それから、以前やった教材が戻ってきて、うれしいという、普遍的な、子どもたちが昔の文学作品、古典に触れ、大事にしていく作品が戻ってきたねという喜びの声は聞かれた。
秋本会長	よろしいか、他にあるか。
各委員	（質問等なし）
秋本会長	次に書写をお願いする。
杉山指導主事 （羽生市教委）	小学校　書写について報告する。 **東京書籍　新しい書写** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○「目標」を立て、生徒が見通しをもって学習に取り組めるように工夫されている。「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返って話そう」、「生活に広

げる」という六段階の過程が設けられている。
〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉
○「見つけよう」の書写のかぎでポイントを示し、意識しながら学習できるような工夫がされている。
〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉
○単元末に位置付けられている「振り返って話そう」では、話し合い活動等を通して学習を振り返らせる構成になっている。
＜毛筆と硬筆との関連＞
○「生かそう」という学習過程には、毛筆で学習した点画の書き方等を掲載している。毛筆で学んだことを硬筆に生かせるような工夫をしている。
＜各教科や社会生活との関わり＞
○「生活に広げよう」では、はがきの書き方やポップの作り方等を記載し、日常生活で学んだことをイラストで説明している工夫がみられる。
【資料】
○「常用漢字表」と「人名漢字表」は、楷書体と行書体で示している。
【表記・表現】
○その他の学習のポイントが、キャラクターのコメントによってわかりやすく説明されている。毛筆の始筆を「とん」、送筆を「すう」、終筆を「ぴたっ」と示すことで、運筆感覚を覚える指導になっている。
【総括】
「振り返って話そう」で、単元の振り返りを対話を用いて行えるような工夫がされている。「書写で学ぶこと」、「書写の学習の進め方」で学習過程を示している。

三省堂　　現代の書写
【内容】
〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉
○「目標を確かめよう」、「書き方を学ぼう」、「見つけよう・考えよう」、「毛筆で書こう」、「学習を振り返ろう」、「書いて身につけよう」、「自分の言葉でまとめよう」という七つの学習過程を示して、学習の見通しをもたせている。
〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉
○「見つけよう・考えよう」の中で、文字の書き方のポイントを見つけられるような工夫がされている。
〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉
○「学習を振り返ろう」で、単元の終わりに、学んだことを自分の言葉で教科書に、直接書かせる記入欄を設けている。
＜毛筆と硬筆との関連＞
○「書いて身につけよう」において、毛筆で学んだことを、硬筆に生かすことができるような工夫がなされている。

＜各教科や社会生活との関わり＞
○「やってみよう」において、新聞や情報誌を作成することで、生活と書写との関わりを示している。
【資料】
○二次元コードを利用することで、姿勢と用具の持ち方や毛筆の持ち方などの内容を、確認することができる。
【表記・表現】
○キャラクターのセリフを通して、その他の学習のポイントを掲載している。
【総括】
自分の言葉で直接教科書に記入する学習が特徴的である。主体的・対話的で深い学びがなせるような工夫が目立つ教材である。

教育出版　　中学書写
【内容】
〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉
○教材ごとに「目標」を示している。また、「目標」を意識しての「試し書き」や書き込み式の確認箇所を設け、字形を確認し文字のバランスを身につけさせるようになっている。
〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉
○各学年の取組において段階を追って章立て、学習者にねらいを意識しながら取り組ませるように構成している。また、教科書に学習のポイントや気づいたこと、まとめや応用を書かせる欄を設け、課題を意識し考えながら習得させるように構成している。
〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉
○「学習の進め方」として①目標(試し書き)②考えよう③生かそう④振り返ろう⑤学習や日常生活に生かそう、という流れが示されている。
＜毛筆と硬筆との関連＞
○教材ごとに学習のはじめに硬筆で試し書きをしてから、毛筆での書き方を学ばせるようになっている。
＜各教科や社会生活との関わり＞
○「学習を生かして書く」の単元で礼状、レポート、ポスター、新聞、掲示物、案内状などを扱い、また、巻末の「書式の教室」で、はがき、封筒、原稿用紙、願書などを取り上げ、生活と書写との関連を提示している。
【資料】
○多くの写真資料で視覚による解説をしている。
【表記・表現】
○毛筆手本の中心を記号で示し、筆使いのポイントが記号、点線、濃淡、穂先の図で示され、筆順も併せて示している。目標や振り返りなどの学習の手順をマークで示している。振り返りでは、評価のポイントを示している。その他の学習のポイントがキャラクターや生徒モデルによって示されている。　○筆圧を「1の力・2の力・3の力」と示し、運筆指導に対応している。
【総括】

	ABの判型である。巻頭の「目的に合わせて書こう」で「書く目的」ごとに「身につけたい力」とその方法や内容について示している。見開き2ページの右に目標と手本、左に「試し書き」「考えよう」等の学習項目を示している。また、学習効果を活用するために「学習活動や日常生活に生かして書こう」等の単元が設定され「書式の教室」といった資料が示されている。全体的に写真資料を多く提示している。 **・光村図書　中学書写** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○目標を示し、「考えよう、確かめよう、生かそう」の段階を追って学習できるように構成されている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「考えよう」の問いについて考えることで、主体的に学習のポイントを見つけられるよう構成されている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○取り外して使える「書写ブック」が教科書と対応させながら活用できるように工夫されている。 ＜毛筆と硬筆との関連＞ ○教科書の学習で毛筆を学んだ後に「生かそう」で学習したことを生かして硬筆で書くように構成されており、硬筆と毛筆を関連づけながら学習できるようになっている。 ＜各教科や社会生活との関わり＞ ○身近な文字を取り上げ、さまざまな書体に触れられるようになっている。また、目的による文字の使い分けについても身近な生活に生かせる資料が掲載されている。 【資料】 ○学習内容について簡潔に示されており、目標とすることが一目でわかるレイアウトとなっている。 【表記・表現】 ○始筆・送筆・終筆の筆使いや筆圧、点画の連続や省略が掲載されている。 【総括】 何を学ぶのかが「学習の窓」で示されている。 「書写ブック」の活用により、硬筆・毛筆どちらにも学びが生かせる。 以上で書写の報告を終わる。
秋本会長	質問等はあるか。
髙瀬委員	東書の資料について　資料で「e動画でチェック」がある教材では動画が見られるとあるが、他の教科書では2次元コードやQRコードとあるが、東書の方はどのような形か。
杉山指導主事	例えば、「e 動画でチェック」とあるものは、この動画を取り出して、この筆の持ち

	方とを見られるようになっている　。他の出版社も２次元コードというように、このような読み取れるコードがある。やはり、文字の書き方、姿勢等も、動画で確認することができるようなつくりになっている。
秋本会長	よろしいか。他に質問、その他意見はないか。
渡邉委員	東書の「表記・表現」のところで上の〇の２行目、毛筆の「とん　すー　ぴた」というのはあるが、はねるときの表現はないのか。
杉山指導主事	とん　すー　ぴた　とめて、はねは「すっ」で表現される。 右はらいの時は、「ぐっ　すー」　というように言葉で表現される。
渡邉委員	言葉の有効性についてだが、小学校１年生２年生あたりで図形の移動の時に、非常に効果がある。そこで中学校の書写で、言葉を使うというのは、他の出版社は使っているか。
杉山指導主事	他の出版社でいうと、筆圧に関しては、１の力、２の力・・・など数字で表現している出版社もある。
渡邉委員	その点でも、東書は他とは特別違うと思うが、言葉で表そうとした時、授業で進めていくときには、その効果というものについてはどう考えるか。
杉山指導主事	やはり、筆の動きをイメージしやすいと話題に挙がった。
秋本会長	よろしいか。他に質問、その他意見はないか。
福田委員	三省堂について、総括の特徴のところに書かれているが、自分の言葉で直接教科書に記入する学習が特徴的だとある。主体的・対話的でしっかり学びがなせるような工夫が目立つ教材だということで、それが三省堂の特徴だということだが、もう少し具体的に説明してほしい。
杉山指導主事	例えば、「毛筆で書こう」というように文字があったときに、字形を整えてと目標があり、書くことができましたか。というその問いに自分で考えることによって、最終的にはこのようにその問いに対して、ここに自分が学んだことを書き残そうということで、自分の言葉で振り返り、まとめを直接記入して、学習の記録がなされるような構成になっている。これが自分の言葉でまとめることによって、深い学びにつながる。その手立てになっている。そのようなまとめがされていた。
福田委員	他社でもそれと同じでないにしても、振り返りとか、そういう部分はあるのか。
杉山指導主事	他社の教科書でも振り返る欄は設けられている。そこで自分の言葉でまとめる欄なのか。または、〇や△の記号で振り返り、学習のまとめができるようになっている出版社もある。
秋本会長	よろしいか。他に質問、その他意見はないか。
柿沼委員	書写は筆圧というものが大切だと思うが、３段階に分かれて表示していると先ほどあったが、言葉を用いてということだが、１・２・３の筆圧に関して、話は出たのか。
杉山指導主事	筆圧の部分では、ここを強く、ちょっと弱くという言葉の表現よりも、１の力、２の力、３の力と数字で力を表した方が、より力の入れ具合がイメージしやすい、伝わりやすいという意見が出された。
秋本会長	他にあるか。

渡邉委員	教科書毎に例えば、東書の場合は、「知識・技能」の最初のところで６段階、三省堂については、目標のところで７段階、教出は「学びに向かう力」のところで５段階、光村では「知識・技能」の「考えよう」で３段階、基本的に大まかに分けて、そのような意図を持って、それぞれの会社が作成しているようだ。その点において、いくつか段階に分けたり、教材によって分けたりしている。大まかに分けているなど、差異というか特徴はあるのか。
杉山指導主事	会社によって、段階が様々であるということは、よく協議に出た。それにおいて、ある教科書は、見開きでよくまとまっているという表現やそれとは反対に、６段階、７段階と情報がたくさん掲載されているという意見がよく出されていた。
渡邉委員	実際授業を進めるときに、見開きの中で完結した方がいいのか、あるいは、何時間かのまとまりとして関係していった方がいいのか。書写の特徴はあるか。
杉山指導主事	小学校に関しては、国語の授業とは別に書写の時間が設けられている。中学校に関しては、国語という単元の中で書写を扱うという意見が出された。その中で、情報量がたくさんあることは勿論、いろいろな学習の学びにつながることがあるが、見開きですっきりとまとまっているという良さに関しては、やはり限られた時間の中で学習を的確に修めやすい。という意見もあった。どちらがよいという意見はされなかった。しっかりと情報量が載っているという良さ、そしてすっきりとまとまっていてきちんと学びが終えられるという工夫がされているという意見はあった。
渡邉委員	ということは、小学校の教育課程の授業の設定と中学校との違いがあることは意識した方がよいのか。
杉山指導主事	した方がよい。
秋本会長	他にあるか。
各委員	（特になし）
秋本会長	次は社会・地理・歴史・公民・地図の順に進める。 報告をお願いする。
主事 （加須市教委）	小学校　社会・地理について報告する。 **東京書籍　新しい社会　地理** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○編や章・節の最後に「学習を確認しよう」や「○○のふり返ろう」があり、基礎的・基本的な知識･技能を確認することができるようになっている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「みんなでチャレンジ」のコーナーがあり、対話的な活動をとおして、思考力、判断力、表現力の育成を図ろうとしている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○各編の最初に「小学校の学習を振り返る活動」及び「導入の活動」を設定し、学習への興味･関心を促す学習活動が示されている。 ＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞

	○各単元の学習を、単元全体を貫く問いである「探求課題」と、探求課題の解決を補助する問いである「探求のステップ」、１単位時間の学習のめあてである「学習課題」の３段階の問いで構成されている。 【資料】 ○１単位時間ごとに学習内容に関連する導入資料（写真等）及びその解説文が掲載されている。 【表記・表現】 ○「集める」、「読み取る」、「まとめる」等のマークが表記され、スキルアップの視点が示されている。 【総括】 学習の見通しをもたせる工夫として、章及び節を貫く課題が提示されている。また、それに迫るための１単位時間の学習課題も提示されており、章全体で、課題解決学習ができるような教科書構成になっている。また、基礎的･基本的な技能の習得を目指した学習活動が数多く示されている。さらに、節の導入写真や地図等が大きく、鮮明であり、インパクトのあるものとなっている。 **教育出版　中学校社会　地理　地域にまなぶ** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○１単位時間の内容が見開き 2 ページの中にまとめられ、見開きごとに「学習課題」と「確認／表現」がもうけられている。「確認！」では、その時間の学習で学んだ重要な語句などに着目しながら、基礎的な事柄を抑えることができる。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○１単位時間ごとに「表現」があり、学習したことを活用して表現する活動を促す工夫がある。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○最初に地理の学習を始めるにあたり、「小学校の学習の振り返り」、「中学校の学習の見通し」、「地理的な見方･考え方」についてのページが掲載されている。 ＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞ ○節ごとに「学習テーマ」や「学習の視点」が示されているとともに、１単位時間ごとの学習課題が提示されている。 【資料】 ○１単位時間ごとに学習内容に関連する導入･中心資料（写真等）及びその解説文が掲載されている。 【表記・表現】 ○１単位時間ごとの学習内容に対して、脚注に関連する項目･内容が示されている。 【総括】 導入をもとに学習課題を設定し、その解決を目指した学習活動を行い、まとめ･振り

返るという学習の流れに沿った教科書構成となっている。また、生徒の興味･関心を喚起するコラムが数多く掲載されている。さらに、技能の習得として、地図やグラフの扱い方について、多く取り上げている。文章が平易であり、分かりやすく記述されている。

帝国書院　社会科　中学生の地理　世界の姿と日本の国土

【内容】

〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉

○章（節）末に、「章（節）の学習を振り返ろう」、「写真を振り返ろう」があり、各章（節）の知識･技能のまとめができるようにしている。また、１時間ごとに「確認しよう」があり、その時間に学習した内容を確認できるようにしている。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

○一時間ごとに「説明しよう」が設定され、その時間に学習した知識や技能を用いて、説明する学習を取り入れることができる。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

○日本の諸地域において、「地域の在り方を考える」のコーナーがあり、ＳＤＧｓに関連したテーマを掲載し、持続可能な社会に興味･関心を喚起している。

＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞

○章（節）ごとに学習の見通しをもたせるため、章（節）を貫く課題が設定されている。

【資料】

○世界と日本の諸地域学習の冒頭に「写真で眺める○○」が設けられ、視覚を通して、地域を概観できるようにしている。

【表記・表現】

○脚注に「小学校・歴史・公民との関連」が示されている。

【総括】

章・節・１単位時間ごとに学習課題が提示され、学習の見通し及びまとめ・振り返りがしやすい教科書構成になっている。また、地理学習に必要な技能の習得を目指したコラムが多数見られる。さらに、生徒の興味･関心の喚起、思考力･判断力･表現力や技能の育成を目指した学習活動が多く示されている。

日本文教出版　中学社会　地理分野

【内容】

〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉

○各編及び章・節の終わりに「○○をふりかえろう」、「学習のまとめ」によって知識や技能のまとめができるようにしている。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

○表紙扉において、地理的な見方･考え方について整理している。

	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○各編の最初に、小学校で学習した内容とのつながり、編の学習の見通しについての説明文がある。 ＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞ ○各章の導入で主に着目する見方・考え方を示している。諸地域の学習では各地方の地域的な特色を追究するためのテーマを表にしている。 【資料】 ○１単位時間ごとに学習内容に関連する導入資料（写真等）及びその解説文が掲載されている。 【表記・表現】 ○インデックスで、学習内容を全体の中に位置づけて学習できるようにしてある。 【総括】 世界の諸地域･日本の諸地域については、導入→あらまし→テーマの追究→まとめという流れになっている。また、地理の学習を進めるにあたって必要な技能について、具体的な作業を通して系統立てて習得できるよう構成されている。さらに、主体的・対話的な学習を促す学習活動が多岐にわたって示され、「見方･考え方」の育成を目指したものとなっている。学習内容の理解を深めるコラムもが充実している。文章が平易であり、分かりやすく表記されている。

	東京書籍　新しい社会　歴史 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○学習に必要な技術を身につけさせる「スキルアップ」を「集める」「読み取る」「まとめる」の三つの側面で設け、発達段階に応じて歴史学習に必要な技能を定着できるようにしている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する活動や、小集団での参加型学習を行う活動を設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○歴史学習の終わりに「持続可能な開発目標（SDGｓ）」を取り上げ、SDGｓについて理解し、持続可能な社会について自分の考えをまとめる「歴史のまとめ」で、学びを深められるようにしている。 ＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞ ○第２～７章は単元を貫く導入の活動を行い、導入の段階でまとめの活動を予告することで、単元の見通しをもたせている。 【資料】 ○文字に縁取りをしたり、凡例を使用しないで図中に直接示すようにしたり、グラフでは読み取りづらい破線や点線を減らしたりしている。 【表記・表現】 ○フラットデザインを採用し、本文ページからキャラクターをなくすことで、学習内容に集中できるようにしている。 【総括】 他分野や社会以外の様々な教科でも取り扱っている学習内容には、マークを付すことで、他教科との連携を通して、社会的事象や現代的な諸課題をより深く理解できるように工夫されている。また、ICT 機器を活用して学習効果が高まるようにしている。

	教育出版　中学校社会　歴史 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○「読み解こう」や「Q」などの問いを設け、多様な資料について具体的な手がかりや問いかけをもとに取り組むなかで、資料を活用する技能が身につくような工夫が見られる。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「確認/表現」や「学習のまとめと表現」にグループによる学習活動が設定され、協働活動をもとに、多角的に理解し考察を深めることができるようにしている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○各時代の文化について、わかりやすいマークをつけて紹介し、日本の伝統的な文化とともに、世界の多様な文化についても理解を深めることができるよう配慮している。 ＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞ ○課題のまとめ方において、「地図を使って」や「年表を使って」という指示があり、振り返りのステップが特徴的である。 【資料】 ○教科書とウェブサイトをリンクさせ、学習に役立つ様々な情報を得ることができる「まなびリンク」を設けている。 【表記・表現】 ○吹き出し中の読みやすい改行や、強調される場所がわかりやすい配色など、レイアウトや配色、書体などの表現を工夫している。 【総括】 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、歴史について考察する力や説明する力の育成を重視している。各節の単元構成を「世界の動き→日本の動き」の順で配列し、時代背景を大局的におさえながら学習できるように配慮し、日本の歴史に影響を与えた世界の歴史についての内容が充実している。

	帝国書籍　社会科　中学生の歴史 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○紙面全体にわたるワイドなイラスト地図を世界史の画期となった時代に設け、世界の歴史の画期となった国際情勢の動きに対する理解が促進するような工夫が見られる。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「章の問い」の文言は、時代の特色を論理的に説明するうえで、ヒントになる切り口を投げかける性質のものとなるような工夫が見られる。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○琉球やアイヌの人々の歴史や文化については丁寧な記述に努め、本文と特設コーナーを設けて、重点的に扱うことによって互いの文化を尊重し合えるような工夫が見られる。 ＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞ ○主体的・対話的で深い学びの実現をねらった活動を行う「多面的・多角的に考えてみよう」を３か所設け、人々の様々な立場とその多様性を踏まえた社会の成長を考えるための工夫が見られる。 【資料】 ○二次元コードを利用し、教科書に掲載している一部の資料をタブレットなどで閲覧でき、すべての生徒にとって理解しやすくなるような工夫が見られる。 【表記・表現】 ○見開きにおけるデザインや、グラフ・地図といった資料において、色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使い、見やすくなるような工夫が見られる。 【総括】 絵画や写真、遺構などの歴史的資料に基づいて描いた大きなイラスト「タイムトラベル」を各節の冒頭に設けることで、視覚的にそれぞれの時代の特徴を概観したり、時代を比較し変化をとらえたりしやすくなるような特徴が全体として見られる。 **山川出版　中学歴史** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○見開き１ページの各テーマ冒頭に、そのテーマを理解するための発問を付し、本文を読む視点を示す工夫が見られる。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○テーマで描いている事象が、どのような時代を背景としたものか、歴史の変化の過程でおこる諸課題がどのように解決され、積み重なってきたかを時期・推移・因果関係・差異などに着目しつつ学べるよう、本文の叙述や発問に工夫が見られる。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

○人権・差別・平等などに関する記述や、歴史を多面的・多角的に捉えた記述などを通し、主体的に社会の発展に寄与する態度が養われるような工夫が見られる。
＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞
○「歴史を考えよう」「地域からのアプローチ」の特設ページや課外や発問を設け、生徒一人一人が課題を追究できるような工夫が見られる。
【資料】
○図版は大きく、見やすく、発問を付し、どこに注目すべきかの示唆を与えられるような工夫が見られる。
【表記・表現】
○各テーマの基本色を日本史・世界史で分け、今学んでいることが日本のことか世界のことかがすぐわかるような工夫が見られる。
【総括】
豊富な発問で歴史的な見方・考え方を身に付けることができるようにしたり、世界史も含めた歴史全体の流れをつかむことができるようにしたり、深く、かつ分かりやすく歴史の知識を身に付けることができるようにするための工夫が全体として見られる。

日本文教出版　中学社会　歴史的分野
【内容】
〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉
○「基本用語」では、歴史学習における必要な知識を解説し、「スキルＵＰ」では、技能を説明すると同時に、その向上が図れる工夫がされている。また、歴史の流れを大観しやすいように、各ページに年表が位置付けられている。
〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉
○単元最初の「めあて」において、生徒の到達点（何ができるようになるか）が明示され、見通しを持ちやすい。空欄への記入や記述についても、発達段階を考慮した配列となっている。
〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉
○地域を調べるという項目において、身近な地域や自分たちとの生活のつながりを意識させやすい歴史的事象の紹介がされている。そのなかで、社会を創るために必要な資質・能力の育成に参考となる事例が充実している。
＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞
○課題のまとめ方において、「地図を使って」や「年表を使って」という指示かがあり、振り返りのステップが特徴的である。
【資料】
○「地図で見る世界の動き」ページは年表に関連させながら、その時代を面的にも把握することができ、世界との関わりを意識できる。
【表記・表現】

○見方・考え方における視点（つながり・比較・推移）が明記されており、わかりやすく、資料にも注目しやすい。

【総括】

学習の流れは歴史的事象を時間的に捉え生徒の思考に基づき、問いが設定されている。一方で地図を活用することで面的な世界情勢との関わりを実感させようとする点が特徴的である。生徒が歴史と現在のつながりを意識したり、現代の政治参加について考えたりできるように学習課題が設定されている。

育鵬社　最新　新しい日本の歴史

【内容】

〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉

○鳥の目で歴史の流れを大観できるよう、各章冒頭に各時代の歴史の大きな流れがひと目でわかる「歴史絵巻」を設けている。また、虫の目で時代の特色をつかめるよう、各時代を象徴する歴史的事象を「○○の世界へようこそ！」で詳しい解説を行っている。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

○本文を多角的な視点で詳しく解説した多彩なコラムが、生徒の伝統と文化の特色を多面的・多角的に考察する力、公平な判断力、適切な表現力が養えるようにしている。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

○歴史絵巻やなでしこ日本史など歴史を特徴的（別の視点からのアプローチ）に捉えたものが多く、多面的な見方・考え方と同時に、歴史への興味・関心につなげている。

＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞

○単元のまとめとなるページにおいては、前時代との「比較」の視点に重点をおいている。さらに主体的・対話的で深い学びの実現のため、問題解決型学習の教材配列で知識・思考・判断・表現の一体化を図っている。

【資料】

○各単元の導入時の資料に関して、視覚的なもの（写真・イラスト・絵図）が多く用いられ、時代のポイントもつかみやすく、俯瞰がしやすい。

【表記・表現】

○イラストの吹き出しが、教師と生徒の会話になっており、授業内での流れが意識化・イメージしやすい。

【総括】

独自の導入方法、統一した単元のまとめ方法に特徴がある。生徒の思考の流れを意識した問いも多い。歴史を貫く「通史」の視点を考えるテーマを設け、過去・現在・未来という時間軸の中で、歴史の課題を主体的に向き合えるようにしている。

	東京書籍　新しい社会　公民 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○１単位時間ごとの「チェック」で、知識の習得を図るようにしている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「みんなでチャレンジ」のコーナーで、対話的な活動をとおして、思考力、判断力、表現力の育成が図れるようにしている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○選挙権や成人年齢の引き下げを配慮した「１８歳へのステップ」のコーナーがある。 ＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞ ○各１単位時間の学習課題が提示され、学習の見通しもたせている。 【資料】 ○１単位時間ごとに学習内容に関連する導入資料（写真等）及びその解説文が掲載されている。 【表記・表現】 ○公民的な見方･考え方を活用して考察する学習活動には、「見方･考え方」のマークが表記されている。 【総括】 学習の見通しをもたせるため、章及び節を貫く課題が提示されている。また、それに迫るための１単位時間の学習課題も提示されており、章全体で、課題解決学習ができるような教科書構成になっている。また、生徒の興味･関心の喚起、思考力･判断力･表現力の育成を目指した学習活動が数多く示されている。そして、その学習活動のテーマが生徒の身近なことをテーマとしている。 **教育出版　中学校社会　公民** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○単位時間ごとの「確認！」で、学習を振り返られるようにしている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「公民にアプローチ」のコーナーで、学習における「メディアの活用方法」を示している。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○章の最初の見開き２ページで、章の学習の見通しをもたせる学習活動及びどのような学習を行うかの説明が示されている。 ＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞ ○「公民の学習を始めるにあたって」のコーナーで、公民学習の見通しや学びの記録としての「公民のノート」づくりの例が示されている。

【資料】
○１単位時間ごとに学習内容に関連する導入･中心資料（写真等）及びその解説文が掲載されている。
【表記・表現】
○１単位時間ごとの学習内容に対して、脚注に「小学校、他分野、他教科との関連」が示されている。
【総 括】
「持続可能な未来を考える」を公民学習の柱とした教科書構成になっている。また、学習の見通し、学び方を念頭に置いた記述が見られる。さらに、生徒の興味･関心の喚起、思考力･判断力･表現力の育成を目指した学習活動が数多く示されている。その学習活動のテーマも生徒の身近なことをテーマとしているため、生徒にとって馴染みやすいものとなっている。

帝国書院　中学生の公民 よりよい社会を目指して
【内容】
〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉
○章末の「章の学習を振り返ろう」で、章の知識･技能のまとめができるようにしている。
〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉
○章末の「章の学習を振り返ろう」で、章の思考力・判断力・表現力のまとめができるようにしている。
〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉
○章の最初に見開き２ページで、章の導入の学習活動が示されるとともに、学習の見通しの説明文が示されている。
＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞
○章・節・１単位時間ごとに学習課題が示され、学習の見通しをもたせる工夫がある。また、章・節・１単位時間ごとに「まとめや振り返り」ができるようになっている。
【資料】
○１単位時間ごとに学習内容に関連する導入･中心資料（写真等）及びその解説文が掲載されている。
【表記・表現】
○１単位時間ごとの学習内容に対して、脚注に「小学校、他分野との関連」が示されている。
【総括】
主体的な学びを促すため、章・節・１単位時間ごとに学習課題が提示され、学習の見通し及びまとめ・振り返りがしやすい教科書構成になっている。また、よりよい社会の形成者の育成を目指したコラムや記述が多数見られる。さらに、生徒の興味･関心の喚起、思考力･判断力･表現力や技能の育成を目指した学習活動や学習方法も多く示

	されている。文章が平易であり、分かりやすい表現となっている。 **日本文教出版　中学社会 公民的分野** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○１単位時間ごとに「確認」があり、知識の習得が図られるようにしている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○思考力を育成するための「シンキングツール」を紹介している。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○各編の最初に見開き２ページで、漫画で編の学習の見方や考え方を学習できるようにしている。 ＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞ ○各１単位時間の学習課題が提示されるとともに、その学習課題の解決に向けて手がかりになる「見方・考え方」の例が示されている。 【資料】 ○１単位時間ごとに学習内容に関連する導入資料（写真等）及びその解説文が掲載されている。 【表記・表現】 ○１単位時間における学習内容と「他分野との関連」として、脚注に関連する課題が示されている。 【総括】 教科書全体の流れが、現代社会について学習し、最後にこれからの社会を考え、高校の公民科につなげる構成となっている。また、主体的・対話的な学習を促す学習テーマが現代の課題を中心に多岐にわたって示され、「見方･考え方」の育成を目指したものとなっている。さらに、社会参画に関する記述も見られる。様々なチャートや表などの紹介、コラムが充実している。文章が平易であり、分かりやすい。 **自由社　新しい公民教科書** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○１単位時間ごとに「ここがポイント！」があり、授業でおさえるべきポイントが示されている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○各章の最後にテーマを選択し、調べたり、考えを論述したりする「学習の発展」があり、思考力・判断力・表現力を育成するになっている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○「もっと知りたい」のコーナーで、より一層深く物事が学べるようになっている。 ＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞

○１単位時間の学習のねらいが教科書の各ページの冒頭に示されている。また、「もっと知りたい」のコーナーは多様な視点に気付き、学びを深めることができる資料が添えられている。

【資料】

○導入資料は写真、グラフ、イラストを活用し具体化している。脚注欄には年表や教科書本文に関連したグラフ資料が多い。

【表記・表現】

○歴史的な背景を踏まえ、年表が多く活用されている。資料もコンパクトに精選されている。略語などは脚注ですぐに確認しやすい。

【総括】

「学習のまとめと発展」の「学習のまとめ」では、各単元の最重要語句を掲示し、基礎・基本の定着が図れるようになっている。また、「学習の発展」によって、習得した知識を活用する力を育成するための課題が提示されている。さらに、終章で、学習した成果を生かしたレポートづくりやディベートの学習が設定され、学習内容の深化・充実を図っている。

育鵬社　最新 新しいみんなの公民

【内容】

〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉

○章の終わりの「学習のまとめ」で、知識の習得の確認ができるようにしている。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

○章の終わりの「学習のまとめ」で、自分の考えや意見を書く活動を設定している。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

○最初に「なぜ公民を学ぶのか」があり、公民を学習する意味を示している。

＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞

○「やってみよう」のコーナーで、作業や活動をとおして、課題を追究・解決する活動を示している。

【資料】

○教科書の巻頭に「持続可能な開発目標」及び巻末に「持続可能な社会をめざして」の資料が掲載されている。

【表記・表現】

○地理･歴史のマークによって、地理･歴史分野との関連を示している。

【総括】

公民の学習を行う意義を確認して、公民学習に入り、終わりに３分野を学んでの「社会科学習のまとめ」として、レポートを作成するという大きな流れになっている。また、主体的な学びを促すため、１単位時間ごとに学習課題が提示されるとともに、学習のまとめとしての課題を行うという教科書の構成になっている。さらに、学習を深めるコラム欄が充実している。文章が平易であり、分かりやすい表現となっている

東京書籍　新しい社会 地図

【内容】

〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉

○世界の各州、日本の各地方の概観に役立つ、地形や気候、土地利用などの主題図を掲載し、基礎的・基本的な知識を確実に習得できるようにしている。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

○地理的分野の教科書の図版との連携を図り、歴史的分野、公民的分野の学習とも連携したページや資料を設けてマークを付し、社会的事象を多面的・多角的に考察することができる。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

○日本との結び付きが強いアジア、ヨーロッパ、北アメリカの各州には、見開きの鳥瞰図を掲載し、海底地形まで表現することで、生徒が地域の自然地形のイメージをとらえやすくなるようにしている。

＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞

○探究課題を軸にした課題解決的な学習に活用できる資料を選定して掲載することで、教科書での学習をサポートし、学習内容をより深く理解することができるようにしている。

【資料】

○歴史的分野や公民的分野の学習で活用できるページや資料を随所に掲載し、歴史・公民マークを付して明示することで、３年間の社会科学習全体で活用できるようにしている。

【表記・表現】

○世界の一般図は、ヨーロッパ、アメリカ、日本を同縮尺で掲載して大きさを比較することで、地理的感覚を養えるようにしている。

【総括】

教科書の本文や掲載資料との関連を図り、併せて読み取ることで学習効果が高まる資料を掲載し、課題解決的な学習で活用できるようにしている。地理的なつながりを重視した様々な範囲の一般図を掲載し、地理・歴史・公民での活用度を高めている。

帝国書院　中学校社会科地図

【内容】

〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉

○人々の営みを通した日本の国土や日本の領土を正しく理解できるようにするため地図表現を工夫するなど、豊富な地図資料を掲載している。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

○日本の各地方すべてに自然環境、人口、産業、交通の四つの中核となる事象の資料を設置し、事象を同縮尺で示すことで、分布の特徴や事象間の因果関係を比較・関

	連づけながら考察することができる。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○地図帳の構成や方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方が巻頭の「地図帳の使い方」のページに分かりやすく解説されているため、自学自習に役立てることができるようにしている。 ＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞ ○作業コーナー「地図活用」を設け、生徒自らが世界の諸課題について考え、よりよいあり方について検討したり、他の生徒と話し合ったり、協働して取り組めるような課題や作業を提示している。 【資料】 ○統計資料は巻末にまとめて掲載され、地方別、項目別に色分けがされているため、数値的に地域の特徴や違いを捉え説明しやすいよう配慮されている。 【表記・表現】 ○色覚特性のある生徒にも地図や資料が読み取りやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用し、さらに地図ページ中の国名・都道府県名の赤文字には、白色で縁取りをしている。 【総括】 判型をＡ４判に拡大し、地図が大きく見やすい。見開きにするとＡ３となり、広範囲の地域との結びつきも読み取ることができる。また、それぞれの地域の特色を具体的に読み取れるよう「一般図」→「資料図」という配列で構成されている。さらに、表現も平面の地図表現に加え、鳥瞰表現が多用され、内容が焦点化されて理解しやすくなっている。 以上で社会科（地理・歴史・公民）・地図の報告を終わる。
秋本会長	社会科・地図について質問等はあるか。
小林委員	感想になるが、２点ある。まず、東書の歴史の総括で他の分野や社会以外のその他の教科でも取り扱っている学習内容は、マークをすることで他の教科との連携を通して、社会事象や現代の課題をより深く理解できるような工夫がされている。この指摘です。各学校からの反応よりもわざわざそうしたことを明記したところもあって大変だなといった印象だ。 もう１点は公民分野で、各学校から領土問題をかなりキーワードとして、大変よく扱っているところもあれば、そうでもないところもある。教科書会社によって、表記の仕方、扱いが異なるが、これは文部科学省で認可された教科書だから、その限りはいいと思うが、今申し上げた視点をどう考えるかは、我々の課題だと感じている。
秋本会長	御意見としていただいた。他にはあるか。
福田委員	２点ある。社会科ということで感想になるが、小学校でも主に６年生で基礎コース、また中学で地理歴史公民ということになるが、子どもたちと一体になりながら学習を進めていくということになると思うが、例えば東書で資料のところに各単元の導入部

	に小学校社会科で学習した内容を振り返る活動を設けることで、小学校学習から中学校学習へと円滑に接続することができると書いてあるが、他の会社も同じような表現がある。大体中学校の社会科の教科書というのは、こういうものを織り込んでいるものなのか。
斉藤指導主事	特に今回検定を受けて報告した教科書の中では、そのような小学校との関連性のようなものが多く出ている。今まではあまりそういった小学校との関連というものはなく、現場の教員が小学校から特に６年生の教科書からは実際につながる内容があるので、取り寄せて、小学校ではこういう風にやっていたんだということをやっていたが、今回からはそういった内容が書かれているので非常に現場の職員もやりやすくなるだろうという内容は調査研究会の中でも出ていた。
福田委員	もう１点、地図の方で２社が出されているが、私も地図帳を見てきて、もちろん　例えば小学校の場合、子どもから見ると本当に細かいという印象だ。３年生から使うものだが。中学校だとさらにという印象。実質、中学校の地図帳はどういったものかと考えた時に　かなり細かい地図になっている。生徒によってはかなり地図帳を見るのがキツいと思う気がする。そういった面で、表記表現で東書も帝国も非常に地図に関してはここに書かれているように縮尺とか色使いなど、非常に研究されているなと思った。どちらの会社も非常に中学生に見やすいように学習しやすいようになっていると思った。
秋本会長	御意見としていただいた。他にはあるか。
渡邉委員	まず１点は、公民のところから、歴史的分野の日本文教出版のところの資料のところではデジタルマークを採用し、ITC とあるが、次の東書の２の新しい社会公民のところは、QR コードを掲載し、ICT とあるが、ITC と ICT は意図的な違いがあるのか。
斉藤指導主事	これは単純なミスである。ICT が正しい。申し訳ない。
渡邉委員	教科書の社会科はいろんなデータが、あるいはいろんな参考資料がインターネットで調べられますよという形で提示されている。そうなったときに、今までと違うのが、今までは教科書だけで判断してよかったと思うが、そちらの資料も調べなくてはならないのか。それとも、それとはまったく別に社会科として教科書の採択として考えてよいのか。
斉藤指導主事	全く別として考えてよい。教科書の内容として考えているので、２次元コード、QR コードを付けて、補助的なもの、また発展的なものをつけている教科書もかなり多くあるが、調査研究会ではそれとは別に教科書のつくり、内容で判断をしている。 QR コードの中を見てどういう風だったかとは判断していない。
渡邉委員	ということは教科書だけで調査研究を行ったということか。
斉藤指導主事	そうである。
渡邉委員	なぜこの質問をしたかと言うと、実験してみたのか（実際やってみたのか）ということを聞きたかった。
斉藤指導主事	全てをしてはいない。
渡邉委員	それぞれの会社を見てみる必要はあると思う。まだ新しい教科書のものだから、掲

	載していない可能性はあるかも。 もう１つ、こちらの資料とは全く違うが、県の方の資料の社会科の歴史的分野調査資料２、下の R3 中社会歴史 9 ページ　数字がいろいろ出ている。調査と関わりはないかもしれないが、下の方、基礎基本のページ（1）歴史上の人物、関わった歴史上の人物の人数が合計　東書 297 人、教出 323 人・・・育鵬社 379 人でべらぼうに多い。その人数が多いというのはどういう意図で増やしているのかという部分では、見つけられたのかということと、(2) の取り扱った世界の歴史のページ数で育鵬社は 30 ページ、他は 40 ページ以上、学び舎は 80 ページ近い、これだけページ数が開きがあるということは、何か意図的なものがあるのか。あるいはそういう見方のようなものがあるのかどうか。
斉藤指導主事	研究協議会の中では、それについての話は出なかったが、育鵬社の歴史の教科書の報告の中には、多角的というような、別の視点からのアプローチというような言葉がある。これは多分多くの人を扱っているというようなことが含まれているのではないかと思う。これは調査研究会の中での話ではない。
渡邉委員	もう１つ、社会の歴史の育鵬社の中の総括で「独自の導入方法」と書いてあるが、これはどんなことを言っているのか。
斉藤指導主事	これは、鳥の目で体感できるように、と冒頭で扱っているというところである。
渡邉委員	鳥の目、虫の目でというところか。わかった。
秋本会長	よろしいか。他にはあるか。
柿沼委員	公民の方で、意見と質問がある。昨年度小学校のときもそうだったが、インターネットの情報をこれだけ活用する世の中なので、情報は数字でないものもたくさん出ている。何が真実であるのか子どもたちに分かってほしい。そういう意味でメディアリテラシーが強く評価されていくものだと思っている。 これから質問だが、公民の教科書の中で最新のキーワード　電子マネー、society5.0、再生可能エネルギー　そういうものに関して、先生方は話し合いがあったのか。
斉藤指導主事	今回、特に公民だけではないが、SDGs について多く話題に挙がっていた。細かい１つ１つの新しい言葉については特には挙がっていなかった。
柿沼委員	東日本大震災からの復興と防災は大切である。時代とともに持続可能な社会へと少しずつ内容が変わっているのは良い点だと思う。
秋本会長	御意見としていただいた。他にはあるか。
秋本会長	私からよろしいか。 県の方の参考資料で、「R3 中学校社会地理」の７ページ、教出の方で加須市の工場で働いているベトナム人の写真が掲載されているのが、これは話題になったか。
斉藤指導主事	特に話題には挙がっていない。
秋本会長	他にはあるか。
髙瀬委員	地理について、先程から QR コードの話題が出ているが、教育出版のところは、学びのリンクで QR コードが出ているが、他の会社はないのか。
斉藤指導主事	他の会社もある。同じように QR コードが付いていて、インターネットで読み取る

	ことでサイトにつながる。
髙瀬委員	全部載っているのか。
斉藤指導主事	全部ではないが、ついているところが多い。 地理の４社に関しては、全部だったかと思うが、他の分野に関しては全部ではない。
秋本会長	よろしいか。他にはあるか。
各委員	（特になし）
秋本会長	これで社会科を終わる。ここで、１０分間の休憩をとる。 １１時１５分から再開する。
	（休憩１０分）
秋本会長	では再開する。数学をお願いする。
大朏指導主事 （加須市教委）	中学校　数学について報告する。 **東京書籍　新編 新しい数学** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○「問」において、「例」と似た問題に◆マークをつけたり、「ちょっと確認」や「補充の問題」など補助的なコーナーを、用意をしたりすることで、個の能力に応じて基礎的・基本的な知識や技能が習得できるようにしている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「数学の自由研究」のページでは、身近な事象に関連して、数量や図形などを数理的に考察するような題材などが取り上げられ、数学的な思考力・表現力を高めるように構成されている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○事実、方法、理由を説明する記述式の問題を中心に取り上げている。各章の利用問題にある「深い学び」では、日常生活に見られる具体的な問題場面が取り上げられており、数学を学ぶ意義や有用性を実感できるようにしている。 ＜数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫＞ ○巻末の「『深い学び』をふり返ろう」のページでは、数学的な見方・考え方について再確認する場を設けている。ＰＤＣＡサイクルの過程に触れるなどすることで、数学的にものごとをとらえる能力を高めることができる。 【資料】 ○日常生活の中の具体的な場面、状況に応じて、挿絵や写真が問題解決の手立てになるように用いられている。巻末に正多面体の観察や、確率の試行などができる「紙の学習具」が用意されている。 【表記・表現】 ○「学習課題」が学習のまとまりごとに設けられており、授業時間の区切りや指導のねらいをわかりやすく示している。

【総括】
一問一答式ではなく、記述式の問題に多く取り組ませることで、数理的に考察する経験を多く積むことができる。その経験から、数学的な思考力や表現力が高められるように構成されている。「深い学び」では、日常への数学の有用性が実感できる資料が多く盛り込まれており、主体的な学習を促すものとなっている。

大日本図書　新版 数学の世界

【内容】
〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉
○「活動」→「たしかめ」→「Q」とスモールステップで学習を進めることで、問題解決までの道筋がわかりやすく構成されており、基礎的・基本的な知識や技能の習得の一助となっている。
〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉
○「学びにプラス」のページでは、学習したことを活用する問題を取り入れ、論理的に思考し説明する課題を取り上げている。
〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉
○「MATHFUL」のページでは、数学の歴史や身近な事象など数学の有用性に着目した題材が取り上げられており、数学と社会とのつながりを実感できるようにしている。
＜数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫＞
○「利用の節（項）」のページでは、教科書右端に課題解決の進め方を示している。身のまわりの事象の中から問題を発見し、考察する過程が明確になっており、学習内容の有用性を実感できるようにしている。
【資料】
○日常生活の中の具体的な場面、状況に応じて、挿絵や写真が問題解決の手立てになるように用いられている。巻末の付録では、「１年のまとめ」が小さい冊子状にまとめられており、常時活用しやすくなっている。
【表記・表現】
○各単元のはじめの「めあて」の中に、本時の学習のねらいが示されており、その時間の学習内容がイメージしやすくなっている。
【総括】
各節に、基礎・基本が身につくように「活動」「たしかめ」「Q」が配列されている。また、「プラス・ワン」や「たしかめよう」などを取り入れ、学習内容の定着も図られている。数学を深めることができるように「MATHFUL」が示され、主体的な学習が展開されるように構成されている。

学校図書　中学校数学

【内容】

〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉
○例題では、ノート形式で適切な箇所に解答を示し、模範的な解き方を例示している。ノートを書く際に気をつける点についても触れられており、生徒の思考のまとめ方の基礎・基本を身につけることができるようにしている。
〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉
○章末の「活用問題」のページでは、章で学んだことがらを身のまわりの場面や、数学の学習に活用する課題を設定し、論理的に思考し説明する能力の向上を図っている。
〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉
○学習の流れの中で生じる生徒自身の問いを示し、「問い」が学習のつながりを生むことを意識することで、主体的に学習に取り組む態度を養うように配慮されている。
＜数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫＞
○「数学的活動」のページでは、教科書左端に課題解決の進め方を示している。身のまわりの事象の中から問題を発見し、考察する過程が明確になっており、自信をもって問題に取り組めることが資質・能力の育成につながる。
【資料】
○日常生活の中の具体的な場面、状況に応じて、挿絵や写真が問題解決の手立てになるように用いられている。巻末には、アイディアボードのページを設け、話し合いの際に自分の考えを自由に書き込めるようにしている。
【表記・表現】
○「教科書を使った数学の学び方」のページでは、学習の流れが時系列に示されており、教科書を用いた学習の進め方がイメージしやすくなっている。
【総括】
生徒同士がやり取りをしている場面を多く取り入れ、より生徒目線で学習が進められるような工夫がされている。章の学習の最後では、自己評価の場面を設けており、個々の習熟の程度を確認することができる。対話的な学習のために、巻末にアイディアボードを取り入れているところも特徴的である。

教育出版　中学数学
【内容】
〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉
○章の入り口にはその章に関連する既習事項を確認する問題、出口では章で学習した基礎的・基本的な内容がまとまったページを設けている。巻末には、前年度までの既習内容を振り返るページや、基礎・基本の定着を図るための問題ページを設けている。
〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉
○事象を論理的に考察する力を養うために「友だちの考えを知ろう」「みんなで話し合おう」のラベルを付け、課題を話し合って解決する場面を設けている。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉
○「章のとびら」では、学習の必要性や数学の有用性を実感できる課題を設けている。「数学の広場」「数学メモ」には、興味・関心を抱くような課題や数学に関連する知識、数学の歴史的・文化的な話題が掲載されている。
＜数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫＞
○章の導入課題「Let's Try」では、日常の事象の考察から数学的活動を始め、生徒の疑問を引き出している。学習のめあてを明確にして数学的な課題解決につなげられるよう設定されている。
【資料】
○数学の学習で使いたい「数学的な考え方」を巻頭で具体的な事例をもとに紹介している。巻末に取り外し可能な座標平面がつけられている。
【表記・表現】
○「数学メモ」を設け、雑学や細かい注意点を取り上げている。側注を設けて補足的な内容を補ったり、文節で改行したりして視覚的にも読みやすい。
【総括】
数学の教材や話題が掲載され、幅広い知識と教養を身に付けられるよう工夫されている。また、言語活動「みんなに説明しよう」や日常生活や社会への利用する課題「数学への広場」が設定されており、数学的活動を通して、数学のよさが実感できるよう配慮されている。

啓林館　未来へひろがる数学
【内容】
〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉
○「算数をふりかえろう」や本文中の「ふりかえり」マークで学習内容に関連する既習事項が取り上げられ、復習や学び直しをするように構成されている。
〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉
○事象を論理的に考察する力を養うために「説明しよう」「話しあおう」などの言語活動を通して、考え方やその理由を伝え合う活動が設定されている。
〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉
○各節の導入では、興味・関心を促すための「節とびら」が設定されている。また、系統性を考え、既習の内容をもとに新しい学習内容へとスムーズに発展していけるように「ひろげよう」が設定されている。
＜数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫＞
○章末「数学ライブラリー」や「学びを生かそう」では日常生活や社会、他教科と数学の関わりを考えることができる題材を扱い、数学を様々な場面に利用する活動のよさを感じながら主体的に学習が進められるように設定されている。
【資料】
○QR コードを掲載し学習の助けになる教材を参照できるようにしてある。「学びを

生かそう」では、既習内容とプログラミング的思考を融合した問題を取り上げている。

【表記・表現】

○解答例をノート形式で示し、ノート指導に生かせるようにしている。章末問題で対応する教科書のページを示し、振り返りを促している。

【総括】

「みんなで学ぼう編」には、小中の系統性を重視し、スパイラル学習の徹底による基礎・基本の定着と利活用の場面を設定し、思考力が養えるよう工夫されている。「自分から学ぼう編」では生徒自ら学びの過程を振り返って評価し改善する力をつけることができる主体的な学びへの配慮がある。

数研出版　これからの数学

【内容】

〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉

○身近な事象や明瞭簡潔な例を取り上げ、図や補足を用いた丁寧な説明で理解できるようにしている。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

○「Q」や「ＴＲＹ」において、解決の思考を対話形式で掲載することで、根拠を明確にして考えるように構成されている。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

○章のとびらには身近な題材を扱い、各章や「数学旅行」で日常生活の中にある数学に着目した題材を取り上げ、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養うことができるようにしている。

＜数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫＞

○問題発見・解決の過程に基づき、学習内容を習得できるようしている。それぞれの場面でポイントとなる箇所には、キャラクターたちの対話を記すことで数学的に考える資質・能力の育成を促している。

【資料】

○日常生活と関連する場面や学習内容の状況を思い描く際には写真が用いられ、解決のポイントとなる場面ではキャラクターの対話の挿絵が使用されている。巻末付録には切り取って操作できる資料が用意されている。

【表記・表現】

○各単元の学ぶことや目標が明示されていることとキャラクターの対話が記されていることで、学習内容と思考の流れがわかりやすく工夫されている。

【総括】

各章の初めに「ふりかえり」や学習内容・目標の明示、例題の丁寧な扱いなど基礎・基本を習得しやすく構成されている。また、数学的活動を促す場面を多く設定しており、数学的な見方や考え方のよさを実感するとともに、知識や技能が幅広く身につく

	ように構成されている。 **日本文教出版　中学校数学** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○各章の直前や各小節の導入問題で既習事項を確認し、学びの連携を図ることで理解できるようにしている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「説明できるかな？」の問で、理由を説明する場面を設定することにより根拠を明確にして考えるように構成されている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○各章の「身近なことがら」や「数学のたんけん」では、日常生活や社会の中で数学を利用する内容が扱われており、数学を学ぶ意義や有用性を実感できるようにしている。 ＜数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫＞ ○巻頭の「数学の学習を始めよう！」と「学び合おう」をつなげることで、数学的活動の学びの流れをつかみ、学びを深めることで数学的に考える資質・能力を育成するように構成されている。 【資料】 ○課題解決の手順や方法を示す際に、挿絵や写真が用いられ、課題解決のポイントや注意事項には、生徒やキャラクターの挿絵が用いられている。巻末付録には考え方を記入できる対話シートと切り取って操作できる資料が用意されている。 【表記・表現】 ○各項にめあてが示されていることとページ横欄に場面ごとに必要な数学的な見方や考え方、既習事項の確かめ等がまとめてあり、見やすいように工夫されている。 【総括】 各章の前の「次の章を学ぶために」や各小節の〈Q〉と〈確かめ〉、〈次の課題〉など、学びの連携・学習の系統性を意識して構成されている。また、学び方の説明の「数学の学習を始めよう！」や発展的課題の「数学トライ」が設けられ、主体的な学習を促すように構成されている。 以上で数学の報告を終わる。
秋本会長	質問等はあるか。
秋本会長	なければ私から。県の参考資料の「R3 中学校数学」　１０ページに日常生活や社会の出来事を取り扱った例としてここに表記してあるが、これについて差異的なものや土台となったものがあれば教えて欲しい。
大脇指導主事	調査研究の中で、こちらにもあるものも含まれているが、算数というか数学の特質が日常と少し切り離れてしまっているのかと考えており、例えば黄金比のようなもの

	やコピー用紙の割合であるとか、あるいは和算など、実態に即したものを取り上げた教科書であるかという点においては考えながら進めてきた。
秋本会長	わかった。他にあるか。
渡邉委員	今、実態に即しているかということで、数学については正直言って生活に密着している部分もあるが、学問としての部分も出てくるわけで、例えば、無理数であるとかは全然、実生活ではあり得ないこと、偶数なども割り切れない分数なども実際の生活の中では無くて、きちんと割り切ってしまうものだ。なので、両方を加味していかなければならないものだと思う。そういったときに、県の資料「R3 中学校数学」の９ページ、その分量についてのところで、東書から日文まであるが、その中で啓林館と数研が課題学習法というところでの出題項目が１～３年生まで、他の教科書会社に比べると多い。多いということは啓林館と数研については、何か強い意図があるのか。
大脇指導主事	意図という点に、答えになるか分からないが、例えば啓林館においては前の方からおよそ９割が「みんなで学ぼう編」ということでいわゆる一般の教科書の体を取っており、背面から教科書を横向きにすると「自分で学ぼう編」で探求的な学習であるとか、そういったものに分量を割くところがあり、これについては、指摘のとおり啓林館や数研では、そういった探求の部分もページを割いていることが分かった。
渡邉委員	探求するという力を伸ばしていきたいということを意図している可能性があるということか。
大脇指導主事	それが、意図と言い切れるか分からないが。
渡邉委員	説明の東書の総括のところの１行目、１問１答式でなく、知識的なものを多く取り込ませることで云々とあるが、この東書も思考力とか見え方とかを伸ばしたいという意図が感じられる表現か。
大脇指導主事	今回の教科書は、東書はもちろんのこと、どの教科書においてもということになるが、例、問いで終わるような構成ではなく、そのプラス１歩先の部分を、意図的に構成の中で取り入れていると話題に挙がった。
秋本会長	よろしいか。他にあるか。
柿沼委員	教科書の巻末にアイデアノートや対話シートが付いていたが、こういうものを活用しようなどの話はあったか。
大脇指導主事	会社ごとに本体に含まれていたり、別冊であったり本当に様々なところがあるが、こういったものを、どう授業で取り入れるかという視点を当てて調査研究を進めており、教科書の良さという点で、大きなウエイトを含んでいるのではないかと思う。
柿沼委員	数研だけ探求ノートが付いているが、よく見ると内容が難しいのではないかと思う。
秋本会長	意見としていただく。他にあるか。
小林委員	学校の意見をまだ全て見てはいないが、慣れた教科書に対する使用しやすさのようなものが感じられる。どの教科書でもよいが、何かしらのコメントがつく。コメントの内容は様々ある。言い方を変えると、繰り返しになるが、教える方からすると、慣れのような、数学に関しては強く出ているという印象だ。相当数、n 数が多い。半分く

	らい見た感じ、そういった印象だった。各教科書会社で工夫をしているが、そのあたりのバランス、使い慣れ等が学校からの評価としては強く出ている印象だ。 　途中経過なので、これは意見である。
大朏指導主事	調査研究の中では、もちろん今使用している教科書存在がまず頭に浮かんでしまう。ただ、１番最初にそういったことではなくて、ここでゼロスタートであるので、そういた形で調査研究を進めてきた。
秋本会長	よろしいか。他にあるか。
渡邉委員	意見になるが、数学で一番必要な力は説明する力だと思っている。どんなに計算ができても、それは電卓がやるようなものであって、電卓を使う能力、そういうのが必要だと思っている。そうすると、説明する能力、極端に言うと中学生で一番不得意なところは証明問題である。証明問題がまず不得意なのだ。というのは、説明ができないから不得意であり、説明する力を前面に出している教科書が最近増えてきている。今開いている教出もそうだが、内容のところで、「みんなに説明しよう」。あるいは、啓林館でも「説明しよう話し合おうなどの言語活動」というような形で出してきている。これは、やはり数学が分かりにくい。数学を完全に理解している子どもと理解できない子どもが分かれてしまいやすい。そういう言葉がイメージできないところがあるのかなと思う。説明するということはすごく重要なことで、この教科書を見させてもらうと、このことを意図しているなと強く思った。そういう点で、今回の教科書の努力は　敬意を表したいと思うが、コロナで話してはいけない、くっついてもいけない、どうやって授業やろうかなど、採択とは関係ないが心配している。
秋本会長	意見としていただく。他にあるか。
小林委員	教科書の依存性がどれくらいあるか　全国の学力テスト、埼玉県学力テストの結果が出ている。東部地区は生活態度云々、他の地区と比べて大変素晴らしい結果が出ている。残念ながら相対的に不得意な科目は数学である。したがって、教科書の依存性がどのくらいあるかは定かではないが、そういう観点からもこの地区にあった教科書というのを欲しいなと思っている。それは専門の先生方が一番分かっていると思うので、そういう視点でも選定できればいいと思った。私は具体的に、「これ、これ」と申し上げる地位にないが、私なりに評価を繰り返し、次回に向けて検討していきたい。
秋本会長	そういった話題は、会議でも出たか。
大朏指導主事	具体的ということではないが、実態という部分では、まずはそこを考えなければという意見は出た。
秋本会長	よろしいか。他にあるか。
各委員	（特になし）
秋本会長	次に理科をお願いする。
野本指導主事 （加須市教委）	中学校　理科について報告する。 **東京書籍　新しい科学** 　【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉

	○「これまでに学んだこと」で既習事項を確認し、単元ごとの「学習内容の整理」で重要語句などを復習し、「章末」問題や「確かめと応用」で繰り返し学習できるようになっている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○観察・実験では、「結果の見方」と「考察のポイント」で、結果・考察の視点を示している。また、「Before & After」で、学習前後の考えを比較できるようにしている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○「学んだことをつなげよう」では章で学習したこと全体を結びつけて考えるようにしてあり、自然の事物現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うための工夫がなされている。 <科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫> ○観察・実験では「科学のミカタ」で理科の見方・考え方を示し、仮説や構想を立てる助力となっている。 <日常生活や他教科との関連を図るための工夫> ○「from Japan 世界につながる科学」で学習内容に関わる科学の話題を紹介している。また、楽器職人やパン職人の方などのインタビューを掲載し学習内容に関わる職業を紹介している。 【資料】 ○巻末資料として「ペーパークラフト」があり、楽しみながら学習内容の理解を深める工夫がなされている。 【表記・表現】 ○表紙の表裏には理科に関する写真とともに、「なにをしているのかな？」「どうやってできているのだろう？」といった一言発問があり、生徒たちの知的好奇心の喚起を図る工夫がなされている。 【総括】 全学年を通して、生物の分野が多く掲載されている傾向にある。３学年ともにページ数を多く使い、力を入れている。それに対し、物理分野と地学分野は掲載量を減らしており、特に物理に関しては全学年ともに少ない。生物に重点を置いた、生命尊重の精神を感じる **大日本図書　理科の世界** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○「これまでに学習したこと」「思い出そう」で既習事項を示し、「章末問題」や単元ごとの「まとめ」で重要語句を復習し、「単元末問題」や「読解力問題」で繰り返し復習させるようになっている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

○観察・実験では、「結果の整理」と「結果から考えよう」で、結果・考察の視点を示している。また、「話し合おう」では思考や表現する場面を示している。
〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉
○生徒が自ら探究に取り組めるよう、「私のレポート」「探究活動課題を見つけて探究しよう」等で、その方法や結果例を具体的に紹介している。さらに「やってみよう」の項目があり、自然の事物現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うための工夫がなされている。
<科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫>
○観察・実験では「着目点」を示し、「理科の見方・考え方」を働かせ、見通しをもって観察・実験を行えるようになっている。
<日常生活や他教科との関連を図るための工夫>
○「Science Press」で学習内容に関わる科学の話題を、「くらしの中の理科」で学習内容が日常の生活や社会でどのように活用されているかを、「Professional」で学習内容に関わる職業などを紹介している。
【資料】
○表紙の表は、フラスコやビーカーの中に環境をモチーフとしたジオラマが作られており、遊び心をくすぐるとともに美術作品のような芸術性を感じる。また、表紙の裏は自然などの写真を掲載し、理科らしさを表している。
【表記・表現】
○教科書のサイズはB5でコンパクト。文字数は１ページ２／３ほど（１行２６文字程度）で、適切な文字量である。
【総括】
１学年ではウエイトが低くなりがちな地学分野の掲載を多くしている。３学年の最後に取り扱う単元である、科学分野の割合が大きい。中学校卒業を間近に控えた子どもたちに、これからの未来を見据えて、科学技術を教え込もうとする意気込みを感じる。

学校図書　中学校　科学
【内容】
〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉
○「ふり返ろう・つなげよう」で既習事項を示し、「QRコード教材」で繰り返し復習させるようになっている。
〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉
○探究の過程の中で、特に力を入れたい項目のある観察・実験は、「しっかり考察」「しっかり計画」「しっかり話し合い」などのタイトルがついている。
〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉
○各章のはじめに、その章で「できるようになりたい目標」を示しており、自然の事物現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うための工夫がなされ

	ている。 <科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫> ○各章のはじめに、その章で「できるようになりたい目標」を示しており、自然の事物現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うための工夫がなされている。 <日常生活や他教科との関連を図るための工夫> ○単元末の「学びを日常にいかしたら」では、対話形式で日常生活の疑問などから設問につながる工夫がなされている。 【資料】 ○表紙の表には、理科に関する小さい写真が多数掲載されており、博物館を思わせる。また、表紙の裏には大きい写真で理科を連想させる。 【表記・表現】 ○教科書のサイズは縦B5横A4。文字数は１ページ２／３ほど（１行２８文字程度）で、適切な文字量である。 【総括】 全学年を通して、物理の分野が多く掲載されている傾向にある。初めての物理実験や躓きやすい電流など配慮していると考えられる。また、１学年ではウエイトが低くなりがちな地学分野の掲載を多くしている。 ３学年の生物分野と自然分野を同一単元に掲載している。意識が一度途切れることなく、同じ流れで学習できる。 **教育出版　中学理科** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○「これまでの学習」「思い出そう」で既習事項を示し、単元ごとの「要点と重要用語の整理」で重要語句を復習し、「基本問題」や「学年末総合問題」で繰り返し復習させるようになっている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○観察・実験では、「結果」と「結果」で、結果・考察の視点を示している。また、「話し合おう」では思考や表現する場面を示している。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○「やってみよう」「参考」「チャレンジ」のマークで、課題を見つける活動や、さらに調べていく活動などを示しており、自然の事物現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うための工夫がなされている。 <科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫> ○教科書の左側に「目的」「準備」「方法」「結果」のタグがあり、探究の進め方が確認しやすく工夫されている。 <日常生活や他教科との関連を図るための工夫>

	○「ハローサイエンス」で科学の話題を、「科学者列伝」で学習内容に関わる科学者を紹介している。 【資料】 ○表紙には理科に関する写真が大きく多数掲載されており、タイトルには大きくはっきりと理科の文字がありわかりやすい。他の教科書と間違えないよう配慮されている。 【表記・表現】 ○教科書のサイズは縦B5横A4。文字数はページの端まで（１行３７文字程度）記載されており、読みごたえがある量である。 【総括】 １学年における生物分野のページ数が他と比べて多い。中学校に入学しこれからの理科の学習に胸を膨らませている１年生の初めの単元として、しっかりと興味関心を持たせるよう意識している。 ２学年、電流の単元を冬季に行う掲載順である。静電気は乾燥している冬の方が発生させやすいことを、配慮してある。 **啓林館　未来へひろがる　サイエンス** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○「つながる学び・QRコード」で既習事項の確認をし、単元ごとの「学習のまとめ」で重要語句を復習し、「力だめし」で繰り返し復習させるようになっている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○観察・実験では、結果や考察の視点を示している。「探Q実習」や「探Q実験」、「表現してみよう」などでは、自分の言葉でまとめさせることで、思考力や表現力を育成する場面を示している。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○「探Q実験」や「探Qシート」で探究する力を身につけられる工夫がある。 <科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫> ○「考えてみよう」「話し合ってみよう」「思い出してみよう」「活用してみよう」「表現してみよう」の場面を設け、いろいろな見方や考え方をはたらかせて、課題を解決するための話し合いなどの活動に取り組める工夫がある。 <日常生活や他教科との関連を図るための工夫> ○「科学コラム」として「部活ラボ」「お料理ラボ」「お仕事ラボ」「防災減災ラボ」「深めるラボ」があり、学習内容に関わる科学の話題や日常生活でどのように活用されているかなどを紹介している。 【資料】 ○表紙には、理科に関する写真が大きく多数掲載されており、他の教科と間違えないようわかりやすい工夫がなされている。

	【表記・表現】 ○教科書のサイズは縦B5横A4。文字数は１ページ１／２ほど（１行２３文字程度）で、文章が苦手な生徒にも読みやすい量である。 【総括】 全体を通し、生物分野の取り扱いが少ない。そのぶん、１学年では化学と物理分野に重点を置いている。初めての実験、取り扱う器具の多い実験について丁寧に取り扱っていると考えられる。 ２学年、天気の単元を夏季に、電流の単元を冬季に行う掲載順である。気温の高い夏季には露点の実験を行いやすく、乾燥している冬季には静電気を発生させやすいことを配慮している。 以上で理科の報告を終わる。
秋本会長	質問はあるか。
小林委員	教科書のサイズについて　B5×A4 というのは、正方形に近いのか。
野本指導主事	（本を見せながら）こちらである。
小林委員	机のスペースを取ってしまうというコメントが、３つとも共通してある。どういう認識でいるのか。
野本指導主事	これは広げた時に今までよりも場所を取ってしまうという形で、調査研究会でも話題になったが、今までになかったタイプではあるが、縦長になっている。
小林委員	学校が全て、教科書のサイズについてコメントしているわけではないが、わざわざコメントしている学校においては、その正方形に近いサイズは机の場所を取ってしまって、使いにくいとの話も聞く。
野本指導主事	理科室で授業をする場合はあまり感じないが、教室で授業をする場合は、少し場所を取ってしまう可能性があるのではないかと調査研究で話が出た。
小林委員	用紙のサイズは気になる人は気になる。
野本指導主事	教科書を広げた後、ノートを広げるということがあるので、生徒のスペース、ノートをとるスペースも重要なので、少々話題に挙がった。
小林委員	大きくはなっていないのか。
野本指導主事	大きくはなっていない。
秋本会長	よろしいか。質問はあるか。
福田委員	個人的に中学校の理科の授業をあまり見たことはないが、今日改めて聞いてみて、どの会社も科学的に探究する学習活動の充実を図られる工夫について　どの会社も非常に具体的に書かれている。例えば、東書を読み上げると、教科書の左下に問題発見・仮説・構想・観察・分析・解釈・検討・解明云々とあるが、どこの会社もこれを大事にしているということが分かった。
秋本会長	御意見としていただいた。他にはあるか。
渡邉委員	先程、小林委員から教科書のサイズが大きくなると、何か弊害があるのかという意見があったが、少し説明させてもらうと、教科書はこのように変化していった。これ

	は当然のことである。というのは、机の大きさは天板が 40×60 センチで最初決まっていた。それが文教施設協会というところの文部科学省の方から研究委嘱を受けて、天板についてはどうだろう、あるいは、机についてはどうだろうということで加須もそうだが、研究の委嘱があって、それで答申をして変わった。なので机の号数が 1 号が一番大きかった。ところが今は号数が大きくなれば大きくなるほど大きくなり、逆になったと思う。それと同時に天板の大きさも規定がなくなった。だから、大きい天板を使ってもよい。小学校において A4 がベースになってきているので、天板を 50×70 とか大きくしたい。しかし問題もあって、教室の広さが広がっていない。大体教室はどこも 50～60 ㎡の大きさである。それが広がっていないので、一クラスの定数が少なくなれば、当然机の天板が大きくなるということがあってもいいわけだが、そこのところのバランスがうまくいっていない。そういうところがあって、まだ教科書が大きくなると机の上でどうのこうのというのが起きてくる。これは教科書会社に問題があるわけではなく施設管理の問題だが、そういうわけで、いろいろ理論通りいっていない部分があるが、それはご承知おきいただきたい。一概にはいかない。校舎を立て直すこともできないので、と思っている。 質問だが、大日本の表記、表現のところで、奇をてらわずにとあるが、逆に言うと、奇をてらっている、何か求めているというか、そういう何か違いがあるのか。
野本指導主事	そこのところは、研究会のところでも出たのだが、大きさもさることながら、基本的なつくりをしっかりとしているねといった話だった。
渡邉委員	どちらかというと、従来のつくりを大切にしてくれているという意味だろうか。
野本指導主事	そういう意味合いである。
渡邉委員	各会社のところで、物理の分野が多く掲載されているとか、生物が重視されているという表現があったが、県の資料「R3 中学校理科」の 7 ページを見ると、逆にその他の学図の読み物などの資料数であるとか、埼玉に関する資料数が載っているが、数字から見ると、読み物の資料数が少ないとあるが、ほとんど差はないように思うのだが。
野本指導主事	どの教科書会社も比較的、現代社会とのつながりだとか身近なものとのつながりということで読み物をたくさん入れているとの感じはある。
渡邉委員	生物を多く使っているとか、物理を多く使っているとか、あまり感じないのだが、表現されているほどの差は感じない。
野本指導主事	そうですね。
髙瀬委員	今、渡邉委員が言っていた「R3 中学校理科」の 7 ページ、学図は数が少ないが、他と比べると何か話題になったか。
野本指導主事	特に、数が少ないということについては、話題には挙がらなかった。
髙瀬委員	ちょっと他の出版社と比べると少ない。どうなのだろう。
野本指導主事	そこは話題にならなかった。
渡邉委員	一番下のところの日常生活にかかわるというところでの数字、その他の部分、読み物の部分に近いのだろうが、それを見るとやはり内容的には、なるほどという項目を挙げている。自分だと気が付かない項目を取り上げているので感心している。

	今後インターネットを調べると数多く出てくるのでは。そういうことだろう。
秋本会長	御意見としていただいた。他にはあるか。
柿沼委員	感想だが、理科において観察や実験が非常に大事だと思っている。結果とか考察とか導き出すのが理科なのかなと思っている。授業時間は限られているので全ての実験はできない。QR コードを使って、実験している模様を見せて、併用して授業は進んでいくのかと思うが、啓林館の中で NHK for school のリンクがあり、積極的に導入されている。 質問であるが、話し合いの中で、そういう動画の話は出たか。
野本指導主事	どの会社も QR コードを載せてあって、動画であったり他教科とのつながりであったり、そういったものが見られることは話題には挙がっていた。ただ全部細かく見ているわけではないので、実際の授業での活用についてまでは至っていないのが現状である。
秋本会長	よろしいか。他にはあるか。
各委員	（特になし）
秋本会長	中学校　音楽に進む前に昼食休憩とする。１３：１５から再開する。
	（昼食休憩）
秋本会長	よろしいか、次に進める。　次に音楽をお願いする。
野本指導主事 （加須市教委）	中学校　音楽について報告する。 **教育出版　中学音楽　音楽のおくりもの** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○曲想と音楽の構造、歌詞の内容、曲の背景、音楽の特徴との関わりを踏まえ「主要教材」による学びを基盤にして「比べてみよう」「深めてみよう」を活用することにより知識や技能が身に付けられるように配慮されている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○他者と協働しながら表現を工夫したり音楽や演奏のよさや価値を考えたりする学習のために、キャラクターによって具体的な内容を示したり「話し合おう」で考えを交流できるようになっている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○「Let’s try！」では、我が国の伝統音楽を学習する際に、唱歌や伝統的な歌唱、箏を演奏するなど表現と鑑賞の関連を図った体験活動ができるように工夫されている。 ＜音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫＞ ○歌唱教材は、斉唱や重唱、合唱など多様な演奏形態を取り扱うことが可能であり、他者とともに音楽表現をつくる過程を重視している。また、歌うためのワンポイント・アドヴァイス「Let’s Sing！」が配置されている。

〈生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫〉
○歌唱と鑑賞の学習では、主要教材と比較することから様々な音楽の共通性や固有性を考えその特徴を理解し、音楽文化の多様性に気付かせるように工夫されている。
【資料】
○学びを支えるＷＥＢが掲載されている。
【表記・表現】
○判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに工夫されている。
【総括】
巻頭口絵では、歌唱共通教材の歌詞の内容や背景、作詞者・作曲者の思いや意図を伝えている「A Message for you」が掲載されている。
「私たちのくらしと音楽」では、音楽著作権やキャリア教育と関連するアウトリーチ、教育活動、音楽療法について掲載されている。併せてSDGs に関連した取組も紹介されている。

教育芸術社　中学生の音楽
【内容】
〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉
○学習指導要領の内容及び楽曲の性格に即して、ねらいを明確化した教材が配列されており、「学習目標」「活動文」「音楽を形づくっている要素」を各教材に設定し、一目でわかるように示している。
〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉
○知覚・感受したことをもとに「思考・判断・表現」を行うためのヒントをキャラクターの吹き出しで示すほか、思考した内容を記述する場面を設定したり、ワークシートを掲載したりするなど手順が分かりやすく示されている。
〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉
○我が国や郷土の伝統音楽の唱歌や伝統的な歌唱を歌ったり、「指揮をしてみよう！」では鑑賞曲や歌唱曲を聴きながら指揮をしたり、リズムを打ったりする体験活動を取り入れ、実感を伴って理解できるように工夫されている。
＜音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫＞
○歌唱教材は生徒の心情的な発達の段階に沿ったものであり合唱曲の編成、各パートの音域など学年に応じて考慮されている。また、基礎的な学習内容を確認する「My Voice！」が配置されている。
〈生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫〉
○生活の中にある様々な音や音楽への関心を促す特集、歌唱及び鑑賞教材ではアジアや世界の音楽文化や原語を取り入れた教材、世代を超えて日本の文化を共有することができるよう「歌い継ごう 日本の歌」が配置されている。
【資料】

	○動画や音声などの情報を視聴、閲覧できる二次元コードが示されている。 【表記・表現】 ○文章や歌詞、楽譜などの近くにイラストや写真を配置する場合には、学習上必要な情報に注目することができるようシンプルなデザインになっている。 【総括】 作詞、作曲家、狂言師等のｲﾝﾀﾋﾞｭｰやﾒｯｾｰｼﾞを掲載し、生命の尊さや自然の大切さ、我が国の伝統文化を尊重する態度が養えるように工夫されている。 「生活や社会の中の音楽」音楽体験を拓くアウトリーチや仕事と音楽では、SDGs について日本人が音楽教育を通して開発途上国の教育環境改善に取り組む姿が紹介されている。 **教育出版　中学器楽　音楽のおくりもの** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○各楽器の基本的な奏法が身に付けられるよう「学びのねらい」「学びのポイント」が明記され、身に付けた技能を生かして「まとめの曲」が表現できるよう工夫されている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「何が同じで、何が違う？」のページでは、吹く楽器と弾く楽器について共通性や固有性を考え、特徴を理解することができるよう書き込み欄が設けられ、話し合う場面も設定されている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○他者と協働して表現を工夫することができる多様な楽器の組み合わせによるアンサンブル活動が掲載されている。 ＜音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫＞ ○アルト・リコーダーやソプラノ・リコーダーの二部合奏など、比較的平易な合奏曲を集めた「Let's play！」とグレードを上げた「Let's try！」、そして創作教材「音のスケッチ」と難易度が吟味して構成されている。 〈生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫〉 ○和楽器や洋楽器などの特徴を踏まえて共通点や相違点について考えたり、楽器の背景にある文化や伝統について考えたりするページが設定されている。 【資料】 ○学習に役立つ情報をアクセスできる「まなびリンク」が設定されている。 【表記・表現】 ○箏と三味線では、五線譜と併せて縦譜や文化譜を掲載している。 【総括】 「名曲旋律集」では、名曲の解説とリコーダーや箏、ギターの楽譜が掲載されている。

	器楽教材は、歌唱、創作、鑑賞の各活動と関連させながら、生徒や学校の実態を踏まえて取り扱うことができるように工夫されている。 **教育芸術社　中学生の器楽** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○曲想と音楽の構造などとの関わりについての気付きや理解を促す内容のコラムや「Ｑ＆Ａ」、キャラクターの吹き出しが適切に配置され、学習目標や学習活動との結び付きが分かりやすくなっている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「思考・判断・表現」を行うためのヒントをキャラクターの吹き出しで示すほか、思考した内容を記述する場面や「深めよう！音楽」のコラムでは、表現活動を通して思考力・判断力を育む場面も設定されている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○さまざまな楽器に対応し、多彩なジャンルの音楽に触れられるような合奏曲が掲載されている。 ＜音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫＞ ○各楽器とも、平易な練習曲から学習が進められるようになっている。また、アンサンブルの教材では、様々な楽器編成に対応できるよう編曲上の工夫や楽器の編成を選択できるように設定されている。 〈生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫〉 ○打楽器のセクションでは、諸外国の民族楽器を取り上げ、諸外国の音楽文化に対する理解が深めるように配慮されている。 【資料】 ○二次元コードにより学習をサポートする参考資料を閲覧することができる。 【表記・表現】 ○和楽器において、五線譜と和楽器固有の記譜法を掲載し、様々な指導実態に適応できるよう配慮されている。 【総括】 「楽器でMelody」では、さまざまなジャンルの名曲の旋律をリコーダーや和楽器などで演奏することができるようになっている。 歌唱、創作、鑑賞の各学習活動との関連にも配慮され、学校の実態を踏まえて取り扱うことができるように工夫されている。 以上で音楽の報告を終わる。
秋本会長	質問等はあるか。
秋本会長	県の資料を見ると、我が国の郷土の伝統音楽ということで、中学校音楽一般７ページにあるが、この辺の話題性としてなにか意見などが出てきたか。

野本指導主事	教科書によって取り上げている日本の伝統芸能は異なるが、雅楽と能を取り上げている教育出版と教育芸術社は歌舞伎と文楽を取り上げていて、どちらも話題としてはいいなという話は出た。
渡邉委員	感想だが、子どもたちというのは、学校の音楽というのはあまり好きでない。学校の音楽というのは、楽しむということを大前提にするより、理解するというのが付いてきてしまうというのがあると思うが、この辺のバランスというのは、今回の教科書を作る上で、あるいは見た上で　さらに「楽しみを子どもたちの喜びを尊重しているな」あるいは、「こんなところに出ているな」というのを感じたところはあるのか。
野本指導主事	歌うことへの喜びについて、曲について話し合う場面が設定されていたり、教科書にも書き込める部分があったり、音楽においても対話的な学習ということで、その話し合う場面とか重視されているのかなと感じているという話は出た。
渡邉委員	やはり、ある程度、曲なんかでお互い意見を言ったりすることが大切である。歌を歌うなという時期も、指導をしているから、何か工夫が大切になってくるのだろうか。
野本指導主事	感想が中心になってくる。
渡邉委員	今はそうだろう。また授業の工夫をしていかなければならなくなると思う。でも楽しいというのが、大前提であって欲しい。
秋本会長	意見として承る。他にあるか。
各委員	（特になし）
秋本会長	よろしいか。次に進める。　美術をお願いする。
蓮見指導主事 （羽生市教委）	小学校　美術について報告する。 **開隆堂　美術１、美術２・３** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○題材ごとのページで用具・材料・技法を図版・写真で示し、表示・マーク等で注釈し、さらに巻末資料で手順などを加えて詳細をまとめ、基礎的・基本的な知識・技能が身に付くよう工夫されている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○作者自身の言葉、生徒や作家の制作過程や作品解説など、表現を支える情報を精選・整理して掲載し、発想・構想、鑑賞の場面で思考力、判断力、表現力等の育成が促進されるよう工夫されている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○題材ごとに「学習の目標」を３つの柱で表し、「学習のポイント」を加えて提示、さらに豊富な資料との関連をマークで示すなど、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 〈一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫〉 ○制作過程や用具・材料・技法が生徒の視点に立って説明され、学年に応じて系統的に示されており、生徒個々が創意工夫し美しく表現したり、自身の感じ方で鑑賞したりするための配慮が見られる。

【資料】
○題材に応じた資料（作品例、用具・技法・材料、作者の言葉）が整っている。見開き４ページを費やす鑑賞では原寸による作品の部分抜粋を挿入、実物に近い形で見られるよう工夫。巻末に「美術１」１６ページ、「美術２・３」１７ページにわたる資料を掲載している。
【表記・表現】
○本文などでは、ＵＤフォントを使用している。
【総括】
１学年「美術１」、２・３学年「美術２・３」の２冊（Ａ４判ヨコ２㎝長の変形判）で構成している。学年に応じた系統的な題材で１～３学年の流れを構築しており、領域（表現・鑑賞）・内容（絵や彫刻など、デザインや工芸など）別に順序立てたコンテンツとなっている。
「美術１」「美術２・３」とも、内容の中に表現・鑑賞の２領域の題材をちりばめているが、「美術２・３」は、鑑賞専用のページが続く部分を設けた構成となっている。巻末資料の中にＩＣＴ機器を利用した作品や表現方法が示され、情報モラルにも配慮している。

光村図書　美術１、美術２・３
【内容】
〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉
○各題材のページに巻末資料へのリンクマーク（リンク先のページ番号）を付し、題材に応じた用具・材料・技法を参照して基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるよう工夫されている。
〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉
○生徒や作家の発想の仕方等を写真・図版や文章で紹介して発想・構想、鑑賞する上でのヒントをマークや文字囲で示し、思考力、判断力、表現力等の育成が促進されるよう工夫されている。
〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉
○題材ごとに総括的な目標を短文で示し、チェック欄を設けて振り返りができるようにしたり、ヒントをマークで示したりすることで、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫をしている。
〈一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫〉
○多様な表現方法を紹介し、題材によって紙質や体裁を変化させ、多様な使い方ができるようになっており、自分のイメージに応じた表現方法を見付け、選択することができるよう配慮されている。
【資料】
○鑑賞題材で見開き４ページを費やすなど、作品例を可能な限り大きく掲載し、紙質を変化させることで実物に近い形で見ることができるよう細かい配慮がなされてい

る。巻末に「美術１」２４ページ、「美術２・３」２６ページにわたる多くの資料を掲載している。

【表記・表現】

○本文などでは、ＵＤフォントを使用している。

【総括】

１学年「美術１」、２・３学年「美術２・３」の２冊（Ａ４判）で構成している。学年に応じた系統的な題材で１～３学年の流れを構築している。表現と鑑賞２領域のページを区分せず、授業の中で表現・鑑賞両方に触れさせるような配列にしている。内容（絵や彫刻など、デザインや工芸など）別に配列された題材ごとに２領域の具体的な目標を明示し、授業の指導と評価に活用できるよう構成が工夫されている。

巻末資料の中にＩＣＴ機器を利用した作品や表現方法が示され、情報モラルにも配慮している。

日本文教出版　美術１、美術２・３上・下

【内容】

〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉

○各題材のページに写真・図版で活動に直接関わる用具・材料・技法を数多く示し、巻末資料においてもふんだんに情報を掲載して基礎的・基本的な知識・技能を理解し身に付けるように構成されている。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

○各題材で生徒や作家の言葉を掲載するとともに、それを創造活動に生かすために造形的な視点からの問い掛けを示すことで、思考力、判断力、表現力等の育成が促進されるよう工夫されている。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

○題材ごとに「学びの目標」を３つの柱で表し、また、学習を進める上での着眼点を「造形的な視点」の吹き出しで示し、他の提示資料と相まって主体的に学習に取り組む態度を養う工夫をしている。

〈一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫〉

○題材ごと、ヒントとなるコーナーや資料がふんだんに提示されており、各ページを閲覧する中で、生徒個々が多様な表現・鑑賞の仕方があることに気付き、選択して学習できるよう配慮されている。

【資料】

○見開き４ページを割いた鑑賞題材を筆頭に、１ページ当たりの面積をフルに利用して原寸大を含む数多くの写真・図版・解説が提示されている。巻末に「美術１」１８ページ、「美術２・３上」１６ページ「美術２・３下」１２ページの巻末資料を掲載している。

【表記・表現】

○本文などでは、ＵＤフォントを使用している。

	【総括】 １学年「美術１」２・３学年「美術２・３上・下」の３冊（Ａ４判ヨコ２㎝長の変形判）で構成している。系統的な題材で１～３学年の流れを構築している。表現と鑑賞２領域のページを区分せず、内容（絵や彫刻など、デザインや工芸など）別に配列した題材ごとに両方に触れさせる構成となっている。題材ごと３つの柱による目標を示し、指導と評価に活用できるよう工夫されている。巻末資料の中にＩＣＴ機器を利用した作品や表現方法が示され、情報モラルにも配慮している。 以上で美術の報告を終わる。
秋本会長	質問等はあるか。
渡邉委員	もう少し詳しく説明してもらいたいのが、２分冊と３分冊について、開隆堂と光村は２分冊、日文は３分冊だが、その特徴と効果みたいなものが　３分冊であればこういう効果があるみたいなものがあれば教えてもらいたい。
蓮見指導主事	調査研究の中で、２分冊、３分冊のことについて、例えば量的な差などというのは見られないという話し合いが出た。その上で、２冊構成がよいか、３冊構成がよいかについては、その学校の実態や使う先生によって異なるという見解で話し合いが行われていた。
渡邉委員	美術の場合には、１年生の内容と２・３年生の内容というようになっている。学習指導要領には。１年・２年・３年ではない。１年生と２・３年生用だ。日文のものも１年生と２・３年生のものなのだろうが、２・３年生のものを２つに分けると…というと、どうして２つに分けたのだろうか。表現と鑑賞で分けたわけではないか。
蓮見指導主事	表現と鑑賞で分けたわけではない。
渡邉委員	内容的なものだろうか。他の２社が１冊にしている。ここを２冊に分けたことは何か意味があるのではないか。
蓮見指導主事	調査研究の中では、なぜ分けたかという部分については、話し合いの焦点に挙がらなかった。
渡邉委員	あとで気を付けて見ていこうと思う。
秋本会長	他にあるか
髙瀬委員	県の方の資料で、美術の５と６についてだが、一番上にスケッチの数とあるが、光村と日文とかなりの数の違いがあるが、このスケッチとはどういう意味なのか。
蓮見指導主事	今回の調査研究の中では、こちらの資料についての話は出ていなかった。 具体的にスケッチという言葉は、出てこなかったが、作品数の比較、作品を数えることについての調査は行われた。その児童生徒の作品であったり、著名な作家の作品であったりはいろいろな種類のものを数多く載せているところもあれば、一つの作品を大きく取り扱っているところもあるので、数が多い方がいい部分、イラストが大きい方がいい部分、構成上、見やすくすっきり見やすくしている方がいい部分となるべく情報が多い方がいい部分と、学校の実態に応じて、変わってくるだろうという話が調査研究の中で行われた。

髙瀬委員	スケッチというのはどういう内容のスケッチなのか。
蓮見指導主事	こちらは、調査研究でも出なかった。次回までに確認する。
髙瀬委員	極端に違うので。開隆堂は２・３年の上下で２組のスケッチしか載せていない。他は多く５０近くのスケッチを載せている。 もう１つ、３社で比較してみて、特に開隆堂の２番、作者数作品数であるが、日本人の作品と伝統的な表現の数について、他の２社と比べて多い。それは話題になったか。
蓮見指導主事	作品数が多いということについては、具体的に日本人の作品数や伝統的な表現の数が多いとかではなく、作品数ということについて話題に挙がった。作品数が多いという特徴がある会社もあれば、実物大のインパクトを重視して大きい作品を用いるというような会社もあり、それぞれの良さがあるという話が出ていた。
秋本会長	よろしいか。他にあるか
各委員	（特になし）
秋本会長	よろしいか。次に進める。　保健体育をお願いする。
柿沼指導主事 （羽生市教委）	中学校　保健体育について報告する。 **東京書籍　新しい保健体育** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○「見つける」「課題の解決」「広げる」の３つに学習ステップが分けられ、学習を進めやすくする工夫が見られる。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○生徒自らが考えたり、調べたりする場面が設定されており、主体的な学習活動を促す工夫が見られる。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○これまで学習してきたことを振り返るための発問が生徒の関心を引き付ける内容となっており、ねらいに迫る学習が課題の工夫が示されている。 〈生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫〉 ○Ｄマークを用いたインターネット学習ができるようになっている。教材も豊富にあり、インターネットを通して他教科とリンクした学習を深めることができるように工夫されている。 【資料】 ○「教科書の使い方」が丁寧に示してあるとともに、多くの口絵を用いて学習内容を深めたり、発展させたりできるように配慮されている。 【表記・表現】 ○解説の文章とイラスト・写真・資料のバランスがとれている。また、確認問題の配置など授業の流れがわかりやすい構成となっている。 【総括】 「見つける」から「広げる」まで明記されており、授業の流れを視覚的にわかるよう

にすることで、生徒も見通しをもって主体的に取り組むことができるように工夫されている。

文章、イラスト・写真・資料のバランスがよい。章末資料では学習した知識をさらに発展させることができるものとなっており、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身につけることができる内容になっている。

大日本印刷　中学校保健体育

【内容】

〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉

○小単元において、キーワードで学習内容の振り返りができ、章末では重要語句や要点の確認ができるようになっている。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

○「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」の項目で活動場面を示し、思考力・判断力・表現力を育成する内容になっている。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

○導入の段階で、生徒の興味・関心を高めるための図や挿絵があるところがよい。

〈生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫〉

○「リンク」で他教科等のつながりを示して、横断的に関連が深められるよう工夫されている。

【資料】

○現代的な諸課題として、オリンピック・パラリンピック教育、防災教育、情報活用能力、情報モラル、ストレスへの対処法などを深く学べる資料が豊富に掲載されている。

【表記・表現】

○ユニバーサルデザインをふまえた色遣いが工夫されている。また、本文内の重要語句を異なるフォント書体を用いて目立つ工夫がされている。

【総括】

重要語句の「キーワード」を単元最後にまとめ、「ミニ知識」や「リンク」を掲載し、発展的な学習となるよう工夫されている。

深い学びを実現させるために、すべての章において、話合い活動を通して思考を広げ深めていく工夫がされている。図のページの背景色が若干暗く感じるが、背景色を変えるとさらに見やすい。

大修館出版　最新　中学校保健体育

【内容】

〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉

○イラストや図が多く、視覚的に知識と技能の習得ができる工夫がされている。

	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「学習のまとめ」では、様々な形式で身近な話題について考えさせる場面を設定し、思考力・判断力・表現力を育成するような工夫が見られる。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○興味、関心のある運動、スポーツに関する話題や中学生にかかわる健康課題を積極的に取り上げることで、主体的に取り組む態度を育む工夫がされている。 〈生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫〉 ○体育理論では、豊富な資料と文章がバランスよく示されており保健分野との関連が図られ、運動の意義や多様性について理解しやすい内容となっている。 【資料】 ○知的な興味・関心を高められるような工夫として、「コラム」や「事例」などの生活に関連した読み物を資料として取り上げ、知識を広げる工夫がされている。 【表記・表現】 ○ユニバーサルデザインをふまえた色遣いが工夫されている。 【総括】 学習の流れや学び方が系統性をもって構成されているため、見通しをもって学習に取り組みやすい。 意思決定や行動選択を行う課題を設定することで、実践力の育成を図っている。 **学研図書　中学保健体育** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○各小単元において、キーワードで学習内容を振り返ることができる。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○全体で、課題解決学習を通して、思考力・判断力・表現力等が育成されるようになっている。「考える・調べる」では、自身の生活を振り返り、話合い学習につなげることができるように工夫されている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○事例や情報などの問いから、学習する課題を発見しやすく、興味・関心をもたせる工夫がみられる。 〈生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫〉 ○スポーツの多様性について理解するために、各単元の探求学習の問いが豊富に示されている。 【資料】 ○理科、技術、家庭科、社会科などの他教科と関連が深いところでは、関連がわかるように「リンク」マークが付けられている。

	【表記・表現】 ○ユニバーサルデザインをふまえた色遣いが工夫されていて、誰にでもわかりやすい紙面になっている。 【総括】 授業の流れが示され、「ねらい」「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる」「深める」といった学びのサイクルが確立されているため、見通しをもって学習ができるように工夫されている。 巻末の関連資料等が充実しており、知識の幅を広げ、生涯にわたる実生活に活用できる工夫が見られる。 以上で保健体育の報告を終わる。
秋本会長	質問等はあるか。
渡邉委員	大日本の総括の一番下の部分、それから２行目の真ん中から図のページの背景色が若干暗く感じるが、背景色を変えると更に見やすいとあるが、そういう要求はできるのか。
柿沼指導主事	話し合いの中で出てきたのは、背景色が暗いので、若干明るくすれば見やすくなったのにねと言うような感想を書いたものである。
渡邉委員	大日本に要求するのかと思ってしまった。表現としては「感想」ということか。
柿沼指導主事	そのとおり「感想」である。教科書会社に要求しているわけでない。
渡邉委員	その前の東書についてだが、総括「見つける　見つけるから広める」、これはどういうことなのか、もう少し具体的に教えてもらいたい。
柿沼指導主事	東書では、「課題を見つける　課題を解決する　広げる」という３つの学習ステップに分かれていて、まず課題を見つけるところから、そしてその課題を解決、運動の中で自身の課題を解決する、そしてその解決した課題を基に次のステップへ広げていくというイメージで、授業が構成されているという３つの明記が詳しく授業の教科書に載っているということ。
渡邉委員	一番上の「知識及び技能が習得されるようにするための工夫」の最初の番号の部分、３つの学習ステップのことを言っているのか。
柿沼指導主事	３つの学習ステップがしっかり明記されていることを言っている。
秋本会長	よろしいか。他に質問等はあるか。
秋本会長	私の方から２点質問がある。まず学研の表記・表現の最後の部分、文字の大きさが更に太く見えると感じるとあるが、これは委員の感想をここに記載したということか。
柿沼指導主事	こちらは委員の感想である。
秋本会長	現代的な課題として、新型コロナウイルスがこれだけ蔓延しているが、そういったことに対して、教科書の取組みで意見等あったら教えて欲しい。
柿沼指導主事	幅広く教科書を見る中で、委員からは現代的な課題についてかなり突っ込んで取り上げてくれているところがかなり見られるという話があった。それぞれの会社も甲乙つけがたいくらい、しっかりと取り上げてくれているという話が出ていた。

秋本会長	他に質問等はあるか。
柿沼委員	感想だが、各教科書、分かりやすいなというのが印象である。その中で東書は見開きの２ページ構成になっていて、構成が分かりやすい。性教育に関して各社ページ数について何か意見は出たか。
柿沼指導主事	性教育についてはかなり細かい部分のページ数について話はなかったが、総括的に幅広く取り上げているという話が出ていた。細かいところの話は出ていなかった。
秋本会長	他にないか
各委員	（特になし）
秋本会長	よろしいか。次に進める。　技術家庭・技術分野をお願いする。
野本指導主事 （加須市教委）	中学校　技術家庭・技術分野について報告する。 **東京書籍　新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○各編とも冒頭に「目標」を示し、「原理・法則と仕組み」「問題解決」「社会の発展」の流れで構成されている。学習の見通しを持つことができるとともに、主体的に問題の発見と問題解決に取り組めるようになっている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○生徒が問題解決に取り組めるように「問題の発見、課題の設定」「設計・計画」「製作・制作・育成」「評価、改善・修正」の流れがどの内容でも同じように示されている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○適切に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うために、「最適化の窓」「技術の工夫」という欄を設けて、さまざまな制約条件のもとでの最適化の方法が示されている。 〈技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫〉 ○巻末では、技術分野の学習を通して、学んだことがこれから生活や社会でどのように関わり、活用されていくのかについて知ることができる。 〈よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫〉 ○写真やイラストを用いて持続可能な社会の実現に向けた取組の紹介や提案が示されており、学んだこととこれからの社会との結びつきを考えられるようになっている。 【資料】 ○多様な指導計画に対応できるように豊富な問題解決例や作品例が取り上げられている。 【表記・表現】 ○各編にタイトルや見出しが色分けしてある。 【総括】 キャラクターによる学習内容に合わせた呼びかけと多くの写真や図で生徒の興味関

	心を引き出している。 　「学習の目標」「始めの活動」「まとめの活動」と学習の流れを統一することで生徒が見通しを持って学習に取り組みやすくなっている。 　技術の見方・考え方に関するトレーニング部分が多く、学びやすくなっている。 　「リンク」「他教科」「小学校」マークを用いて、教科間・学校間の連携を高めている。 　巻末の「プログラミング手帳」を切り離して使えるようにしてあり、簡単なプログラミング体験ができるようになっている。 **教育図書　New 技術・家庭技術分野 明日を創造する** 　【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○各編とも「つくって・育てて」、「じっくり学ぼう」、「学びを深め生かそう」の流れで構成されている。「見つける」→「学ぶ」→「ふり返る」という学習の見通しがわかりやすい。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○題材例が多く示されており、生徒が問題解決に取り組めるようになっている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○「スゴ技」「技ビト」など、学習内容と社会のつながりが分かる資料が用意され、適切に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫がされている。 〈技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫〉 ○消費者、防災、環境、衛生などのマークを使用すること、技術との関わりについて考えを深めやすい工夫がされている。 〈よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫〉 ○持続可能な社会のイメージをイラストなどで示し、技術がこれからの生活や社会、環境とどのようにつながっていくかを読み取りやすくしている。 【資料】 ○見開きで、小学校の学習の振り返りから中学校卒業後の活用までが示されており、学習内容と社会とのつながりを考えるきっかけとなっている。 【表記・表現】 ○書体はUD フォントで統一されている。 【総括】 　別冊「技術ハンドブック」は実習時に手軽に持ち運べるようになっており技能習得に有効である。そして、教科書は設計・計画の内容を充実させている。 　各内容が、「見つける」「学ぶ」「ふり返る」のまとまりで構成されていて、学習の見通しが立てやすい。

	開隆堂出版　技術・家庭 技術分野 テクノロジーを希望に乗せて 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○科学的な根拠やしくみがわかる記述やイラストをいれ、知識技能を理解・習得しやすくしている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○問題発見から評価・改善までの流れをわかりやすく示し、生徒自身が問題解決に取り組めるようになっている。また、実習例の問題発見から問題解決までの流れにおいて、吹き出しや、図を使いながら生徒の創造力を膨らませるような工夫がされている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○「話し合ってみよう」「考えてみよう」など授業の導入となる投げかけがされている。 〈技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫〉 ○「自然的な制約」、「社会的な制約」の中で技術が活用されている事例から技術の見方を育むとともに、今後の技術の発展について考えるための工夫がある。 〈よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫〉 ○持続可能な社会の構築に向けた取組をデータや資料によって示すとともに、「探究」などのマークを使用し、実践的な態度を養うための工夫がされている。 【資料】 ○実習例を通してトレードオフまで考えが深められる工夫がされている。 【表記・表現】 ○各編にタイトルや見出しが色分けしてある。 【総括】 生徒が興味・関心をもって学習にのぞめるように、写真やイラスト、図表やコラムを多く用いている。 各内容ともに「技術・技能の基礎・基本」、「問題発見、計画立案、活動の評価・改善」、「技術の評価・活用」のまとまりで構成され、学習内容の把握から学習後の振り返りまで見通しをもって学習を進めることができるように工夫されている。 身のまわりの技術の学習では、それぞれの工夫点や改良点などを紹介し、既存の技術の工夫点や最適化についての学習が深められるようになっている。 深く学ぶための資料として活用できる工夫が見られる。 以上で技術・家庭　技術分野の報告を終わる。
秋本会長	質問等はあるか。
渡邉委員	教育図書の６の部分、総括のところで技術ハンドブックというものがあるが、この

	ハンドブックは実習をやるときには効果的か。それとも安全性について学習した後は特に必要か。
野本指導主事	こちらに用意してあるが、道具の使い方であるとかそれをまとめたものになるので、この厚い教科書を開くというよりは、ぱっと取り出せて見やすいかなという調査研究会の中でも話題になっていた。
渡邉委員	紛失の可能性は？
野本指導主事	確かに現状の子どもたちの様子を見ると、無くしてしまう子もいるかなという心配も出た。
渡邉委員	その場合、教科書の内容でカバーできるか。
指導主事	その点は確認していないので、次回までに確認する。
秋本会長	よろしいか。他にあるか。
各委員	（特になし）
秋本会長	中学校　技術・家庭　家庭分野について報告をお願いする。
辻指導主事 （羽生市教委）	中学校　技術・家庭　家庭分野について報告する。 **東京書籍　新しい技術・家庭　家庭分野　自立と共生を目指して** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○身に付けさせたい知識・技能を「いつも確かめよう」にまとめて掲載したり、各節の最後に「まとめ活動」を設けたりする等、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫がされている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○ガイダンスでは、問題解決的な学習を重視した学習の流れを具体例と共に示し、各編の導入では、見方・考え方の例を示すなど問題解決に生かせるようになっている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○自分の生活を定期的にチェックできるようになっており、何ができて、何ができていないのかを確認して、学習のまとめなどから自分や家族の生活で改善できることを記入できるようになっている。 〈実践的・体験的な活動の工夫〉 ○学校の実態や個に応じて、選択できる実習例が実習時間や難易度、手順と共に掲載されている。 【資料】 ○本文と資料は、「資料マーク」で区分され、ページ下には学習内容の関連コラム「せいかつメモ」を掲載し、見やすい資料のレイアウトになっている。 【表記・表現】 ○実習例が大きく見開きで掲載され、注意事項に安全・衛生のマークがある。 【総括】 特別支援教育の視点から、UDフォント、図版やイラストのレイアウト等への配慮やカラーバリアフリーを意識した紙面作りをしている。

	ガイダンスの後、B（衣食住の生活）、C（消費生活・環境）、A（家族・家庭生活）、巻末に「生活の課題と実践」を掲載している。 **教育図書　New 技術・家庭　家庭分野　くらしを創造する** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○「やってみよう」のページでは、「見つめる」「学ぶ」「振り返る」の３ステップで構成され、問題解決的に知識・技能を習得できるようになっている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「学びを生かそう」では、問題解決的な学習を手順に沿って繰り返し取り上げ、見方・考え方の視点を意識し、主体的・対話的な学習例を参考に課題を解決できるようになっている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○学習の導入での「自立度チェック」、時間ごとに学習を評価する「私の学び」、章末には「学んでよかったこと」「これからの生活でどのように生かしていきたいか」を自分の言葉でまとめ、自分の学習を確認できるようになっている。 〈実践的・体験的な活動の工夫〉 ○学校の実態や個に応じて、選択できる実習例の手順が実習の流れがわかりやすいように掲載されている。 【資料】 ○本文と資料はマークで区別され、資料には「資料マーク」「参考マーク」がついている。写真等の視覚的な資料が多く見やすくなっている。 【表記・表現】 ○実習例の注意事項に安全・衛生マークを付し、アレルギー物質を含む食材の代替えや食品例、実習の工夫例や失敗例も掲載している。 【総括】 特別支援教育の視点から、UDフォント、余白のバランス、図の見やすさやカラーバリアフリーを意識した紙面作りをしている。 ガイダンスの後、A（家族・家庭生活）、B（衣食住の生活）、C（消費生活・環境）、巻末に「生活の課題と実践」を掲載している。 **東京書籍　技術・家庭　家庭分野　生活の土台自立と共生** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○「調理方法Ｑ＆Ａ」や「製作の基礎・基本」を掲載する等、基礎的・基本的な知識・技能を確認しながら実習の中で習得できるようになっている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○ガイダンスでは見方・考え方を示し、問題解決的な学習の取り組み方を学び方や進

	め方がわかるように視覚的、具体的に示している。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○学習の「振り返り」や「学習のまとめ」では、学習したことをどのように工夫し、生かしていけばよいかを記述したり、感じたことを深めて自分の考えを書いたりする等、自分の学びを確認できるようになっている。 〈実践的・体験的な活動の工夫〉 ○学校の実態や個に応じて、選択できる実習例が実習時間や手順と共に掲載されている。 【資料】 ○本文と資料は「参考マーク」で区別され、奇数ページ右上に学習の関連写真や名称、ページの下には豆知識を掲載し見やすいレイアウトになっている。 【表記・表現】 ○実習例は手順を大きく横流れに統一し、安全・衛生の注意事項やアレルギー物質を含む食材にもマークを付して注意を促す表記をしている。 【総括】 特別支援教育の視点から、UD フォント、読みやすい文章、カラーバリアフリー等、ユニバーサルデザインに基づいた設計がなされている。 ガイダンスの後、A（家族・家庭生活）、B（衣食住の生活）、C（消費生活・環境）、巻末に「生活の課題と実践」を掲載している。 以上で中学校　技術・家庭　家庭分野の報告を終わる。
秋本会長	質問・意見等はあるか。
秋本会長	私からよろしいか。家庭科の教育分野の中で、消費生活等は非常に大切だと思うが、その金銭管理、購入、消費者の責任等々の内容について、何か意見が出たか。
辻指導主事	消費生活等については、協議題には挙がらなかったが、これからの時代に重要な分野であり、消費という面で社会の状況が変わってきていることで、重視していかなければならないという話は出ていた。協議題として議論をしていない。
渡邉委員	これだけ世の中が変わっている。極端に言うと現金を持たないで電子決済するとか、どんどん変わってきている。家庭科における家庭生活ということで見極めて進めていくというのは、今のところ、学習指導要領には入ってきていない。そういうものを取り上げてやっていくという余裕というのは、教科書のものを見ると読み取れない。
辻指導主事	調査研究会の中で、やはりそういう新しい部分についてきちんと年間指導計画にも入れてという話もあったが、やはりこれだけの情報の中で、今の年間指導計画の中で組み変えてそういった時間を確保していくというのが難しい。しかし、それをしっかりと捻出していかなければならないという話はあった。
渡邉委員	家庭科の教科書の採択だけれども、教科書にとらわれないで　特別な時間設定しながらやっていく。家庭科という授業でなくても　そういうのが必要だという認識は、調査研究会の中にはあったか。

辻指導主事	他教科との関連相互であるとか、関連という視点での話はあった。
髙瀬委員	総括で東書は、ガイダンスの後 BCA、他の２社は ABC となっているが･･･。
辻指導主事	東書だけ順番が異なるという話は出た。こちらの調査研究会の見解になるが、衣食住の生活だと調理であるとか、衣服であるとか、家庭科の授業の興味関心付けということで関連して最初に出てきているのではという話は出た。それ以外は話題に出ていない。
秋本会長	よろしいか。他にあるか。
各委員	（特になし）
秋本会長	中学校　英語について報告をお願いする。
柿沼指導主事 （羽生市教委）	中学校　英語について報告する。 **東京書籍　NEW HORIZON English Course** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○Grammar for Communication での文法の説明が丁寧である。Use、Form、Let's Try と系統立てていて、生徒にとって理解しやすい構成になっている。また、リスニングや小学校で学習した表現から始まり、復習をしながら基礎・基本の定着が図れる工夫がある。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○Scene１、Scene２の後の「Read and Think１、２」のパートにおいて、やや長めのまとまった英文を読み、それについての設問に答えるという流れで理解を深める中、手順を追って自分の力で英文を理解しようとする姿勢や能力を育成する構成となっている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○環境、伝統、多種性など、人権への配慮や相手意識をもって伝えることを大事にしている。また、他教科の内容を英語で学ぶことができる内容となっている。 〈聞くこと、読むこと、話すこと［やりとり］、話すこと［発表］、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫〉 ○Stage Activity において、既習の英語表現を用いて、「書くこと」「話すこと」の活動に挑戦でき、復習と発展を兼ね備えた構成となっている。 【資料】 ○書き込みのできるスペースが十分に取られていて、ノートの役割も果たすことができる構成となっている。カラフルで教科書を眺めているのが楽しく、積極的な学びにつながりそうな工夫がある。 【表記・表現】 ○様々な字体や記号が使用されており、学習パート等が区別しやすい。また、New Words は水色で囲まれているなど、視覚的に分かりやすい工夫がある。 【総括】 「Preview」「Mini activity」「Unit Activity」「Stage Activity」と学習を積み上

げていき、４技能をバランスよく取り入れた構成になっている。１年生は英文がシンプルで（ひとつひとつが短文で、理解しやすい文構造）日常生活をテーマにしたものが多い。また、学年が上がるにつれて、段階的に英文の量が増えるなど小中高の接続を見通した、無理のない構成となっている。

開隆堂出版　SUNSHINE ENGLISH COURSE

【内容】

〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉

○Scene で新しい表現を導入し、簡単な活動で理解することができるような工夫がある。また、コンパクトにまとめてあるため、ポイントが絞りやすく、新出文法事項の定着が図りやすい。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

○Think のshare のコーナーでは、題材内容を深く考えられるしかけがある。また、Think-Retell-Interact の流れで構成されており、自己表現までの流れがスムーズである。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

○それぞれのPROGRAM の最初のScene において、絵で場面を想像しながら、短い英文の理解に挑戦することから、英語が苦手な生徒にとっても読みやすく理解につなげやすい構成となっている。

〈聞くこと、読むこと、話すこと［やりとり］、話すこと［発表］、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫〉

○１年生の時からずっと、Interact のパートで自己表現したり、仲間とやりとりしたりする活動があるため、学年が上がり文法事項が複雑になっても、同じような感覚で躊躇なく活動ができ、力を伸ばすことができる構成となっている。

【資料】

○絵がアニメの漫画のような感じで、生徒にとって親しみやすい。

【表記・表現】

○パートやカテゴリーによって色分けされた記号を使用しているため、分かりやすい。

【総括】

プログラムが「Scenes」、「Think」、「Retell」、「Interact」で構成されていて、新出文法事項の学習、本文の理解、新出表現を活用した自己表現等の一連の流れになっており、５領域の統合的な活動につなげる構成となっている。また、小学校で学んだ語彙や表現を繰り返し活用する機会を設けていたり、高校での学習を視野に入れた文章量になっていたりする。

三省堂出版　NEW CROWN ENGLISH SERIES

【内容】

〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉

	○Get のListen、Speak＆Write、Drill のそれぞれのパートで基本文を繰り返し練習し、場面に合った英文を理解できるような構成となっている。また、Use Read のパートで長めの説明文に挑戦することで、段階を踏んで着実に知識を定着させるような仕組みになっている。USE（読解文）のSTAGE が３段階になっており、英問英答や本文の要約で単語の穴埋め等の内容理解をするコーナーがある。STAGE３では、自分で考えて英語で意見を書くなど、自己表現のコーナーがある。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○USE のSPEAK やWRITE でのTASK が明確で取り組みやすい。また、Small step からTASK に向かう仕組みになっているので、無理なく目的を達成できる構成となっている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○題材が異文化理解、伝統文化、文学、自然科学など多岐にわたり、英語の学習をしながら、様々なジャンルへと視野を広げ、教養を深めることができる。 〈聞くこと、読むこと、話すこと［やりとり］、話すこと［発表］、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫〉 ○Get のパートで、基本的な「聞く」「書く」「話す（やりとり）」に取り組み、その後のUse Speak やUse Write でまとまった英文の「書く」「話す（やりとり）」活動に取り組むことで応用して考える力を高める工夫がある。 【資料】 ○各単元のセクションごとにＱＲコードの掲載があり、単語や本文の音声や実写映像をスマートフォンなどで再生できるような工夫がある。また、付録の単語の情報量が多い。 【表記・表現】 ○様々な字体を用いて、より本物に近いイラストや場面設定になっている。 【総括】 Lesson が、GET とUSE で構成されていて、基礎・基本の習得から既習事項を応用した力を身につける構成となっている。USE の読解部分では、かなり長めの英文を読解し、高校で学習する内容を意識した構成となっている。 小学校で学習した語彙や表現を１年生の前期で取り入れ、無理のないスムーズな小中の接続となっている。 教育出版　ONE WORLD English Course 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○Part ごとにTool Kit でパターンプラクティス、そしてListen のコーナーで聞き取りを行いことで、基本文の定着がしっかり図れる流れになっている。また、巻末のActivity Plus では、赤シートを使用し、繰り返し学ぶことができる工夫がある。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

	○３年生はDebate のコーナーがあり、自分の意見を持ち、思考力を高める構成となっている。また、Project のパートでまとまった英文の作文に挑戦することで、既習事項の活用を通して、表現力を高める構成となっている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○日常生活や身近な話題から社会や将来を考える内容が多い。また、他教科で学ぶことや行事との関連性が高い。３年生の教科書は、英語で自分の考えを表現するパートがあり、日本語を通してテーマに沿って考えることで、「自分の考えをもつ」という素地を養える。 〈聞くこと、読むこと、話すこと［やりとり］、話すこと［発表］、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫〉 ○Review やTask のパートで、教科書本文の読み取りに焦点を当てた活動ができるため、長文読解の基礎を作り、コツをつかむ工夫がある。 【資料】 ○写真が多く使用されており、外国の文化が身近に感じられる。 【表記・表現】 ○２年生の教科書から、発音記号があり、自分で読む手がかりとなる。 【総括】 Lesson の構成がPart1 からPart3、最後に目標を達成するGoal でタスクを達成して終わる構成となっている。また、巻末には即興で話す力を養う「Activity Plus」や、Lesson ごとにGrammar のまとめがあるなど、複数の技能を統合した構成となっている。「Springboard」では、小学校で学習した語彙や表現を復習するなど、小学校とのスムーズな接続を考えた構成である。 **光村図書　Here We Go！ ENGLISH COURSE** 【内容】 〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉 ○３年間を通してひと続きのストーリーとなっている。Let's Read の英文量が多めで、まとまった分量の文章が読むことができるような構成となっている。題材も多岐に渡っており、読んでいて楽しくなりそうな題材が多い。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○使用場面が学校生活、旅行、ALT の先生の国のことなど、生徒の身近に起こりうる自然な設定になっており、会話がイメージしやすい。日記やメール、紹介文やインタビュー、記事など様々な形式が用意されている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○巻末のActive Words のパートを活用することで、語彙が増え、表現の幅を広げやすい。「もっと知りたい。もっと表現したい。」という生徒の気持ちを満たし、さらに力を伸ばそうとする仕組みになっている。 〈聞くこと、読むこと、話すこと［やりとり］、話すこと［発表］、書くことなどの

コミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫〉
○Unit のSpeak 部分でシンプルな話す活動（やりとりする活動）を行い、Unit末のGoal の部分で、やや長めの文を自分の言葉で相手に伝える話す活動（やりとりする活動）へとステップアップしていて取り組みやすい。
【資料】
○生徒の興味を引くような写真や資料が豊富に盛り込まれている。また、１ページの英文の量やイラスト等の分量がちょうどよく見やすい。
【表記・表現】
○場面に適した字体や文字の大きさで見やすい。また、見出しやロゴ、カードなどの字体も、それぞれの資料に合った工夫がされている。
【総括】
インスタグラムや絵文字を取り入れる等、生徒の興味・関心を引くような構成である。また、生徒にとって共感しやすい本文の内容となっている。巻末の単語にマークが付してある等、小学校の既習事項がわかるような工夫があり、無理のない小中の接続となっている。左のページで「聞く」「読む」、右のページで「聞く」「話す」「書く」の活動ができる構成となっている。

啓林館　BLUE SKY English Course
【内容】
〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉
○スモールステップによる学習場面の設定がされており、無理なく幅広い知識が得られる仕組みとなっている。また、絵を見ながらパターンプラクティスを行うことで、視覚で場面を捉えながら英文を発音し、ターゲットとなる文章（新出文法）の定着を図りやすい構成となっている。
〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉
○場面、状況に応じて即興で対応する場面を多く取り入れている。また、伝えたい内容を考え、何が適切かを判断し、分かりやすい英語で表現するような活動が多い。
〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉
○左下にあるNotes のコーナーにおいて、日本文化や外国の文化・習慣についての豆知識を読むことで、さらに異文化への興味、及び英語を身につけようとする気持ちを高められるような工夫がある。
〈聞くこと、読むこと、話すこと［やりとり］、話すこと［発表］、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫〉
○Express Yourself のパートで、短文からステップを踏んで、英作文に取り組むことで、テーマに沿って英文を発表しようという意識を高め、書く力及び話す力の向上へと繋げる仕組みとなっている。
【資料】
○ＱＲコードが掲載されており、単語や本文の音声をスマートフォン等で再生できる

	ような工夫がある。 【表記・表現】 〇発音記号があり、自分で読む手がかりとなる。 【総括】 各単元で５領域をバランス良く扱っており、複数の技能を統合した言語活動ができる構成となっている。新出単語及び文法事項の学習、本文の理解、新出表現を活用した自己表現等の一連の流れになっている。小学校で学習した表現等を１年生の始めに、３年生ではディスカッション等の活動を取り入れ、これまでの復習及び高校へのスムーズな接続を考えた構成となっている。 以上で中学校　英語科の報告を終了する。
秋本会長	質問・意見等はあるか。
小林委員	３点ある。 １点目は、前回の小学校の英語の教科書、その前の中学校の英語の教科書は特に意見が分かれたという印象であった。それだけ難しい。 ２点目は、学力テストの結果でこの地区の強み弱みが分かる。そこからこの地区に必要なものが何か言い表すことができないだろうか。教えて欲しい。 ３点目は、中学生ともなれば、英語は相当力の差が大きくなっていると思う。中学卒業の目標が３級で、準２級、２級に挑戦してきているのが実態だと思うが、諸々の状況の中で、教科書に対する期待値はどうだろう。今説明してもらった教科書の長所がずらっとあるが、その中で先生が共通して、これが全体としては必要かなというところが集約できればいいなと考える。私としては、各学校から評価としてまとまってきているものを基に。そこのところを十分に私なりに評価したい。それにつけても、どこに重点を置いた教科書が望ましいかを分かっていれば教えて欲しい。 今の説明で各教科書の長所あるいは特徴のところを教わったと思うが、評価というところになると、弱点を含めた評価をしなければならない。教えてもらえるなら教えて欲しい。
柿沼指導主事	学力テストから分かることについてだが、羽生の結果についてはわかるが、加須の結果は共有していない。このあと確認させてもらい、次回までには報告できるようにしたい。 ３つめの力の差が大きくなっているというところについてだが、調査研究の部会の中でも、それぞれの市から優秀な先生方が集まってきたが、やはり力の差が広がってきていると感じていると言っていた。それを教えるときには、どこのレベルに合わせるか。上の子に合わせると下の子が付いてこられなくなってしまう。先生が言わせると、本当にうまいレベルに合わせて、下の子を救いながら、上の子を伸ばしていく。かなり無理難題なところで授業を進めている。その中で、いろいろな教科書会社を見にあたっても　やはり一長一短といったところがある。中には、今使いたいものが教科書の真ん中辺りにしかない。例えば１年生の初めに季節を教えたいが、季節が載っ

	ているのが真ん中辺りにしかない。良い教科書だが、そういった欠点もある。と言うような話し合いは部会の中であった。子どもたちに合っている教科書を選ぶことが一番だと思うので、ぜひ学校からの意見も参考にしてもらいたい。
小林委員	半分くらい理解できた。 私も質問が難しいと思いつつ質問したのだが、これだけの力量差、得意不得意なものをひとつの教科書にするのが難しいのが実態だと思う。しかし現実は１冊にまとめざるを得ないという我々の苦労・苦心をお伝えしたかった。 英語の選定はとても難しい。
秋本会長	意見として承る。他にないか。
渡邉委員	小学校６年生は今年からだが、令和３年度から教科書が使われるということになると、６年生で教科としてやっていた子たちが中学１年生になり、さらに次の年は５・６年生とやっていた子達が中学１年生になる。その時の配慮や工夫というのは、この教科書の中にあるのか。
柿沼指導主事	調査研究部会の中でも、この１・２年の中での工夫は見られなかったが、小学校から上がってくる段階での、小学校の復習をしておくという部分は全ての教科書で設けられていた。今年度の入学者と来年度の入学者ではレベルも違ってくると思うので、その扱いについては授業時に任されるのかと部会の中でも話が出た
渡邉委員	教科書には、直接表現されていないということか。
柿沼指導主事	１・２年の中には書かれていない。
柿沼委員	感想だが、英語の教科書を見ていて、QR コードを上手に活用して、ネイティブな発音や英会話とか順調に行ってほしいという印象だ。 小学校の外国語活動と、いろいろな接続をできればいいなと思っている。英語の学力の件だが、同じ埼玉県でもさいたま市を見てみると、低学年の時から ALT を置いて英語教育に力を入れている。中学卒業して高校受験といった場合に、語彙力に関して、差が出てくる。単語の総量に関しては、県の資料に載っていたが、先生方から心配とかの意見があったのか。
柿沼指導主事	教科書の英語部会の中でも、英語の学力というところには、一番時間を取っていたところだが、教科書によっても難易度があるということで　この２０採択地区加須・羽生の子どもたちには、どの教科書が合うのかというのも話し合いは行われている。
柿沼委員	英検の話だが、中学校でも２級を目指す子もいる。準２級、３級を取っている子もいるが、それだけ差がついてきている。教科書の選定は非常に難しいと思った。
秋本会長	意見として承る。他にあるか。
各委員	（特になし）
秋本会長	中学校　特別の教科道徳について報告をお願いする。
田島指導主事 （加須市教委）	中学校　特別の教科道徳について報告する。 **東京書籍　新訂　新しい道徳** 【内容】 〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉

	○各教材冒頭にテーマが示され、最後の設問に示された問いを通して考える構成になっている。発問は「考えよう」「自分を見つめよう」の２段階で構成されている。これによって道徳的諸価値の理解をもとに、人間としての生き方を考える学習活動が体系的になされるよう工夫されている。 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉 ○３教材を連続して構成する「いじめ問題対応ユニット」と「生命尊重ユニット」を設けて重点的に取り扱っている。一つのユニットには読み物資料だけでなく詩や漫画、絵画資料などの多様な教材を用い、多面的・多角的に学習できるようになっている。 〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉 ○小学生で感じたこと、考えたことと、中学生になって感じたこと、考えたこととを比べることで自分の成長を確認するようになっている。 〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉 ○教材の文章や漫画を読みながら、考えたり思ったりしたことを「つぶやき」欄に書き込み、それを話し合いの材料として活用できるようになっている。 【資料】 ○学年の巻末「付録」では、郷土資料やグループごとの話し合いを行う際に使用するホワイトボード用紙、自己評価用紙等、豊富な内容となっている。D マークのある題材では、デジタルコンテンツが活用できる。 【表記・表現】 ○教材ごとに学習指導要領の四つの視点をマークと色で示している。目次は四つの視点をマークと色で示している。また、索引は四つの視点と内容項目ごとに分類して示している。 【総括】 全体的に、問題解決的学習や体験的な学習を意識して作成されている。また、記載されている発問が絞られており、指導にあたる教員側も工夫しやすくなっている。 巻末の自己評価用紙と心情円で、自己を見つめて考えを深めたり、学びを振り返ったりできるようになっている。 **教育出版　中学道徳 とびだそう未来へ** 【内容】 〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉 ○教材の冒頭には「導入」の文章を設け，学習のねらいを明確にするようにしている。教材の末尾には「学びの道しるべ」を設け、自己を見つめたり、多面的・多角的に考えたりする助けとなる発問を示している。対話的な学びを深めることで，道徳的諸価値についてのより一層の理解を促している。 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉 ○「生命の尊さ」と「いじめや差別のない社会」の２つのテーマで複数の教材やコラ

	ムをまとめ、ユニット化を図っている。これにより多様な教材から多面的・多角的にテーマを深められるようになっている。 〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉 ○「生命の尊さ」など、重点項目について発達段階に合わせて切実に感じる教材を設けるとともに、内容に系統性を持たせている。 〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉 ○教材の末尾には「学びの道しるべ」が設けられ、教材理解だけでなく、物事を自分ごととして考えたり、多面的・多角的に考えたりするための発問が示されている。 【資料】 ○著名人、スポーツ選手を扱った教材、定番の教材、現代の問題を扱った教材がある。 【表記・表現】 ○教材ごとに学習指導要領の４つの視点を色で示している。 【総括】 内容項目ごとの問いかけがあり、問題解決的な学習が展開できる。体験的な学習を多く取り入れ、行動化を図っている。学習の手引きでは複数の発問が示され、授業者が学習の形式によって取捨選択できるようになっている。 教材末尾の「学びの道しるべ」に、物事を自分事として考えたり、多面的・多角的に考えたりするための発問が示されている。 **光村図書　中学道徳 きみが いちばん ひかるとき** 【内容】 〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉 ○シーズンの冒頭には「学びのテーマ」と語りかけの言葉を掲げた扉のページが掲載されており、生徒が問題意識をもって、自己を見つめられるようになっている。 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉 ○いじめ問題と情報モラルに関わる内容について、全学年で取り上げ、生徒たちの身近で起こりそうな場面を通して、自分事として捉え直すことができるように設定されている。 〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉 ○年間を３つのシーズンに分け、学校生活の実態と、それに伴う生徒の１年間の成長を考慮した構成になっている。 〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉 ○教材の末尾に「道徳的な問題を明らかにする問い」と「道徳的な価値についての理解や自覚を深める問い」が設定されている。他にも多面的・多角的な見方や考え方ができる問いや他教科や日常生活に関連付けて考えられる問いが設けられている。 【資料】 ○著名人、スポーツ選手を扱った教材、定番の教材、現代の問題を扱った教材がある。学校行事と関連させて指導できる教材を掲載している。

【表記・表現】
○教材ごとに学習指導要領の四つの視点をマークで示している。教材の冒頭にマークと視点が付してある。索引は四つの視点と内容項目ごとに分類して、現代的な課題等との関わりや他教科・領域との関わりを示している。
【総括】
１年間を３つのシーズンに分け、学校生活の実態と、それに伴う成長を考慮した年間構成になっている。各教材末には「考えよう」が掲載され、主体的・対話的な学びの姿、多面的・多角的な見方を引き出す「てびき」となっている。

日本文教出版　中学道徳 あすを生きる
【内容】
〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉
○教材と「道徳ノート」の二冊構成にすることによって、自己の心の成長や変容を記録し、実感したりすることが容易にでき、生徒の主体的な学びを促す工夫がされている。また、他者や自己との対話によって理解した道徳的価値について書き留めることで、より多面的・多角的な理解ができるようになっている。
〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉
○「いじめと向き合う」教材を複数取扱い、多様な教材やコラムをユニット化して配置している。情報モラルについては具体的な事例を掲載して、考えを促している。
〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉
○各学年のテーマを、第1 学年から「新しい自分と『であう』」「人との関係を『みつめる』」「よりよい人生を『ひらく』」と発達の段階に応じて設定し、教材を配列している。
〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉
○「道徳ノート」に自分の考えを書き込む箇所のほかに友人の意見を記入する箇所を設け、話し合い活動を充実させるとともに、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。
【資料】
○著名人、スポーツ選手を扱った教材、定番の教材、現代の問題を扱った教材がある。登場人物の紹介を教材の最初に掲載している。
【表記・表現】
○教材事に学習指導要領の四つの視点を色で示している。目次は四つの視点を色で示している。索引は四つの視点と内容項目ごとに分類して示している。目次ではユニットのテーマを示している。
【総括】
「考えてみよう」「自分に+１」で、考え議論できるような発問を用意し、ねらいに迫ることができるようにしている。「道徳科での学び方」や問題解決的・体験的な学習の手引きとなる「学習の進め方」を示すことで、生徒が主体的・対話的に学べるよ

う工夫されている。
　発達段階に応じて学習できるように、テーマやユニットを系統的に配列している。

学研図書　新・中学生の道徳 明日への扉
　【内容】
〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉
○巻頭に詩と自分について記述する「マイプロフィール」があり、自分自身の人間としての生き方を考えようとする意欲を高めようとしている。
〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉
○いのちの教育を重視し、「生命尊重」と「いじめ防止」に関する題材を、多用に取り扱っている。特設ページ「クローズアッププラス」を設け、メンタルトレーニングやアンガーマネジメント、自己肯定感といった直接的な内容についても記載している。
〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉
○1 年生は「仲間と生きる」2 年生は「社会に生きる」3 年生は「世界で生きる」という学年ごとのテーマが設定され、系統性に配慮されている。
〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉
○各学年に「地球と地域の未来のために」「夢に向かって共に輝く」というテーマでユニット学習を設け、多面的・多角的に考え、話し合いができるように工夫されている。
【資料】
○著名人、スポーツ選手を扱った教材、定番の教材、現代の問題を扱った教材がある。
【表記・表現】
○教材ごとに学習指導要領の四つの視点を色で示している。目次は四つの視点を色で示している。索引は四つの視点と内容項目ごとに分類して示している。目次と教材ではユニットのテーマに色付けしてある。
【総括】
　「考えを深める４つのステップ」で、生徒が自ら問いを見つけ、課題や問題に対して主体的に向き合える構成となっている。
　ユニット学習や、特設ページ「クローズアッププラス」での学習により、物事を多面的・多角的に考え、多様な学びができるようになっている。

廣済堂あかつき　中学生の道徳
　【内容】
〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉
○本冊「中学生の道徳」では、教材をもとに考える主体的・対話的な学習を通して人間としての生き方について考えを深め、別冊「道徳ノート」では、書くことを通して道徳的思考を深め、道徳的価値の理解を確かなものにしている。

	〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉 ○自立した人間として他者とともによりよく生きる基盤となる道徳性を育むために、「生命尊重」と「いじめ防止・人権尊重」を重点的に扱っている。 〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉 ○全学年に共通した登場人物を扱う教材を配置することで、生徒が発達の段階に応じて共感的に考えられる内容になっている。 〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉 ○各教材にある「考える・話し合う」には学習のめあてを示し、内容項目でまとめられた「道徳ノート」との相乗効果により考えを深めることできる。 【資料】 ○著名人、スポーツ選手を扱った教材、定番の教材、現在の問題を扱った教材がある。内容項目に沿った名言が紹介されている。 【表記・表現】 ○本冊別冊共にAB 版で、本文の文字のサイズ、文字間や行間、本文周囲の余白等、冊子内で原則として統一を図っている。なお，１年生は小学校からの系統性を考慮し，本文の文字を大きくしている。 【総括】 本冊と別冊「中学生の道徳ノート」の二冊を活用することで、豊かな道徳性を育む構成になっている。本冊の「考える・話し合う」の「学習の手がかり」で生徒が学習の見通しをもって体的に学ぶことができ、「広げる・深める」で対話的に思考を広げて深める工夫がされている。 **日本教科書　道徳　中学** 【内容】 〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉 ○各教材に添えられた「考え、話し合ってみよう、そして深めよう」には、道徳的価値に向き合い、理解するための発問や、自己の生き方を見つめるための発問が設けられ、道徳性の育成につなげられるよう工夫されている。 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉 ○「情報モラル」について、情報機器との関わりについて自分事として考えられるような教材を各学年に掲載している。 〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉 ○三学年共通の主人公を設定した教材を配置しており、生徒の発達の段階に即して共感的に考えることができるように工夫している。 〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉 ○各教材に「考え、話し合ってみよう、そして深めよう」を添え、生徒が主体的に考えられる問いを設定し、他者と対話することで自分の考えを深められるようになっている。

	【資料】 ○著名人、スポーツ選手を扱った教材、定番の教材、現代の問題を扱った教材がある。 【表記・表現】 ○教材ごとに学習指導要領の四つの視点を色で示している。目次は四つの視点を色で示している。索引は四つの視点と内容項目ごとに分類して示している。目次の番号は学習指導要領の内容項目のものと対応している。 【総括】 「道徳科って何を学ぶの？」と「心の成長」の欄では、課題や問題を自分のこととして考え、道徳性を養っていく授業のあり方がイメージ化されている。 巻末にある「私の道徳記録」では1 年間の心の成長やこれからの成長に向けて、自分を見つめることができるようになっている。 以上で特別の教科　道徳の報告を終了する。
秋本会長	質問・意見等はあるか。
福田委員	特別の教科道徳ということで、道徳の場合は評定でなくて評価。記述式の評価になる。教材毎に学習指導要領４つの視点という各教科書会社から出ている。細かいことは分からないが、それを中心に進めていくと思う。やはり中学生の道徳授業というのは、今までやってきたものを中心にやっていくと思うが、評価について、記述式の評価等、生徒の気持ちを出させる工夫を中学校でどのように進めていくか課題がないわけではない。そういうことは話し合いでは出なかったのか。
田島指導主事	授業を進めた中で、子どもがどのように変容したのか、表出させるのかは話題に挙がった。ノートを別に用意して書かせたり読み取れたりできる子はいいが、そういう表現が出来ない子どももいる。どのように見取って、「文字にない部分を読み取れるか」が課題である。
秋本会長	よろしいか。他に質問・意見等はあるか。
渡邉委員	説明を聞いていると、よく「ユニット」という言葉が出てきている。このユニットの効果、あるいは効果がありそうだという部分で意見があったら教えて欲しい。
田島指導主事	集中的に同じテーマに対して、例えばいじめの問題だとか被害者の面と傍観者の面とそういうことで、社会全体として見たときということで、週１回から３週間で連続して様々な角度からいろいろな面を、いろいろな角度から集中的に見るということで、子どもたちの道徳的な価値の自覚について深められるということが効果的と考えられる。そこでいかに印象付けられるかということが、子どもたちのものにするかということが、１年間のポイントではないので、そこのメリット・デメリットを考えつつ、いかにメリットを引き出していくかが話題になっていた。
渡邉委員	それだと工夫が大切ということか。
田島指導主事	大切である。
秋本会長	道徳ノートが別冊になっている会社があるが、それについて何か意見が出たか。出たら、どういったことが出たのか教えて欲しい。

田島指導主事	メリットとしては、自分の前の考えが振り返りやすいということがあった。書くということを意識してその時間集中して取り組むことがあった。 デメリットとしては、しっかり保管しておかないと紛失してしまう。せっかくの積み上げがなくなってしまう可能性も考えられるという意見が出た。
秋本会長	他に質問・意見等はあるか。
小林委員	道徳の授業はかなり広いなという感想である。「何を重点にするか」「何を取り扱うか」基本的にはいじめとか人権とか、ボランティアとか勇気だとか、リーダーシップとか、コミュニケーションとか、本当に広い範囲を網羅している。とても大切な授業であると考える。とても重要な教科として、教科書を選定する必要がある。
秋本会長	特別な教科道徳として、調査研究では中学校を想定し、何か意見は出たか。
田島指導主事	いじめ、情報モラルというところについても話題が出ていた。いかに子どもたちに登場人物の心情理解ではなくて、自分事として捉えて、議論をいかに組み立てて議論になるような問題を提示できるかというところを教科書選定の時にも意識した。
秋本会長	どこの業者も甲乙つけがたい内容が充実していることが読み取れる。ありがとうございました。
秋本会長	他にあるか。よろしいか。
各委員	（特になし）
秋本会長	皆様の協力により、全ての教科書の報告が円滑に終了することができた。これで議長の任を解かさせていただく。
大久保学校教育課長	事務連絡を事務局より申し上げる。
柿沼指導主事	【事務局より連絡】 第３回第２０採択地区教科用図書採択地区協議会について ７月１５日（木）に、この会場にて１３時３０分から行う。次回、選定となる。 以上である。
大久保学校教育課長	【閉会】

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和２年　　９月　30　日

署名　秋本文子 印

署名　渡邉義昭 印

署名　柿沼拓弥 印